

1836

「家久公御譜中」
去年十二月十九日、中宮和産皇子慶音至、則家久命比志島宮内少輔國隆爲使節、獻幣物而奉壽之、祝幣所受

1835

「清水衆中村壹岐右衛門藏」
年始之慶賀万幸々々、猶更不可有盡期候、此等之爲祝儀太刀一腰・馬一疋懇勸之至候、猶永日中慶事可申加候、謹言、

正月三日
式部太輔殿「忠直」

家久

(表紙)

編後 舊記雜錄 卷七十七	家久公 光久公	自寛永元年 至同二年
--------------------	------------	---------------

1837

謝書各載在方矣、
(下)

「家久公御譜中」
「正文在伊地知藏之丞」

元和十年正月十三日

漢倭聯句

宿梅鶯百喜

砌にふかき春のあさ天

遠やまのかすむひかりハほのかにて

霧景眼中連

可愛雲間月

堪臨秋潔瀨

一葉ちるいろはみきはにうつろひて

つなきすてたるかけのつり船

はけしくもすさミ出ぬる夕嵐

孤村起淡烟

牆頭横竹影

ねくらなからにとりそ眠れる

朝日さす野もせの霜のきえ渡り

ひゝき來にけりすゑの谷河

賴景

家久

重長

爲善

理心

賴景

家久

重長

貞守

理心

爲善

家久

重長

貞守

棧危樵路澁

貞昌

すゝめくゝて馬に鞭うつ

紹嘉

ちきりをく月へいさよふ里とをみ

家久

悲秋恨不鮮

貞昌

思深庭下蟀

頼景

腸断雨中鶻

理心

雲かゝる外山の花のいかならん

貞守

かすミわけ入野は懸なり

重長

春遊忘日暮

爲善

歌にしこゝろつくす賢さ

家久

牙琴流水曲

理心

蕃榻海南荃

爲善

きぬくゝにゆかりの袖のしたはれて

重長

ふかきなさけのほとそ憐む

貞守

しのふるもさき立やたゝ露涙

家久

向夕月嬋娟

頼景

雲外數行鴈

爲善

林中復咽蟬

理心

しはしたゝ清水かもとにやすらひて
なかれはるかにつくくあら小田

家久

柳塘遮栗巷

頼景

つはさのとかに驚そ旋れる

重長

落霞齊翠岫

理心

細雨洒金椽

爲善

いろもなを露の玉しく鞠の場

家久

むへもみやこのあき闌なり

貞守

淀路より月に車やつくらん

重長

梯航争後先

頼景

たつね入けふのまとひの花のもと

家久

うらゝにくめるさかつきの員

重長

頼景六

貞昌二

家久九句

紹嘉一

重長八

爲善六

理心六

貞守六

〔御譜年間不知、一巻中ニ同文アリテ此年月日ヲ記セリ〕
〔元和十年二月十二日〕

1838

已上

「御文庫拾七番箱廿一巻中」「家久公御譜中ニ在リ」

中宮様 皇子様御誕生之御祝義爲可被仰上、御使者并御
進物御目錄之通、達 上聞候處ニ、御機嫌被思食糧大納

1840

「古御文書廿七卷中」「家久公御譜中ニ在リ」

以上

太子様被爲成御誕生候儀ニ付、尊書之旨則八条様御前江

1839

言殿方御文被爲蒙候、然者自分へ御小袖弔之内、綾嶋裏淺黄・熨斗目裡黄・銀子拾枚被掛御意候、忝奉存候、何も御出京之節御礼可申上候条、不能詳候、恐惶謹言、

「朱力キ」
「寛永元年」

正月廿四日

大橋越後守

親勝(花押)

伊勢(貞昌)兵部少輔殿

猶々爲御祝儀、私方へ御小袖尅重并銀拾枚被懸御意、過分至極奉存候、此等之趣可然様ニ可被仰上候、以上、

皇子御誕生之爲御祝儀、以御使者被仰上候、如御目錄之則權大納言殿披露被申候処ニ、悦被思食旨被仰出候、尚御使者可爲演說候、恐惶謹言、

正月廿四日

天野豊前守

長信(花押)

伊勢兵部殿

「此一通御譜中洩テナシ」

1841

「古御文書廿七卷中」「家久公御譜中ニ在リ」

披露申上候之処、御懇ニ被仰上候段、御満足被思召候、如仰公私之御悦無極候、次ニ去年長く御在洛之内、切く被爲成御見參、是又御満足被思召候由御意候、恐惶謹言、

「朱力キ」
「寛永元年」

正月廿九日

生嶋宮内少輔

季盛(花押)

松平薩摩守様參
尊報

極月十二日之尊札謹而致拜見候、其刻江戸へ罷下候ニ付而御報遅引、背本意奉存候、然者 女御様 姫宮様御誕生被成候御祝儀、被仰上候旨、御尤御坐候、折節不罷居御使者比志嶋殿へも不申達、意外存候、將亦當城御普請之様子被聞召度由被仰下候、忝奉存候、一段首尾能相調申候間、御心易可被思召候、就中松之御材木并兵糧澤山ニ被贈下候、寔被思召付過分至極御坐候、每度御懇慮之儀、御礼難得申上候、諸事自是可奉得尊意候条、不能具候、恐惶謹言、

「朱力キ」
「寛永元年」

二月十二日

松平越中守(綱)

定信(花押)

薩摩守様
尊報

「家久公御譜中」

「正文在石神十郎兵衛」

元和十年二月十二日

第二

賦何船連歌

かほりくる花に釣簾まく朝戸哉

雨はれわたりほの霞むやま

長閑なる月に一つら鴈おちて

舟さしとむる汀はるけし

あし原やミちてもしほのあさからん

風に岩こす波のたひく

かり枕明すくるまてまとろまて

いつか歸らんとをき都路

関やまや行すきかてのやすらひに

猶きかまほしはつ郭公

卯花ハいまをさかりの陰にして

月をよするやしら川の波

涼しさの風より秋や立ぬらん

所くむしのなくこゑ

うへをける垣ほの薄うちなひき

とひてその名をきかんふる里

ゆかりとはおもひ合する袖ならし

みるめにうかふ涙あやしも

玉章にうらみの筋を書添て

あたしつかひわたのミかたしや

なれもたゞいとけなきこそ哀なれ

ひみなあそひにあかぬともなひ

つきくにかたること葉のはてもやハ

みしへえならぬをしま松嶋

あけほの波や霞にしらむらん

氷とけ行水上のやま

うらくにもうつるひかりのさやかにて

まきつおろしつなる玉たれ

たひくにくむや小かめの酒ならし

うたひいてつささひしけもなし

おさまれる世の行すゑハマきれめや

あかめてあふく神のミやしる

ミとり子の生たつ程を待くて

古巢なからに鶴そこゑする

寒わたる影や霜夜の月ならん

玄與

重長

國隆

宗可

久元

紹嘉

重位

元綱

日説

喜庵

久賀

紹嘉

玄與

家久

宗可

其阿

日説

重長

元綱

其阿

あらしはけしきかけはしのうへ
 雲ハたゝたえ／＼にしも引わかれ
 軒のあふちそさかりすぎぬる
 いかにせんよハひのすゑの殿衛人
 時をかそへて夜こそねられね
 ともし火をかゝけてむかふミたれ碁に
 おもひかけつゝわたる中河
 見そめぬる喫りの末ハおほつかな
 くもりかちなる暮のミか月
 さを鹿のごゑハさたかに聞えきて
 秋の野もせの袖のやすらひ
 むら雲にふりくる雨やしるからん
 やま水しろくなかれ出けり
 風おちて木すゑをさそふ花の雪
 さへつりかハす千鳥もゝとり
 さしわたる朝日の影のあたゝかに
 もれぬめくミをおもふすへらぎ
 かくれすむ身にさへなをき世を待て
 ミかくに玉のひかりこそあれ
 月のころ見はや小草の露の色

國隆
 喜庵
 重位
 紹嘉
 日説
 玄與
 元綱
 宰相
 家久
 宗可
 久元
 久賀
 其阿
 重長
 重位
 其阿
 重位

ほのめき出る松むしのこゑ
 をくらかす友をし忍ふ秋の野に
 あとにさきにとうちつるゝ袖
 折なりといそく八幡の神まうて
 すゑのさかへをおもふ家／＼
 櫻戸の陰になをはたうつしきて
 色もえならぬ藤の一もと
 しつかにてたひ／＼春のあまそゝき
 かすみのまかきひまあらハなり
 をとしつゝ風や折／＼過ぬらん
 よりくる波のたえぬ磯きハ
 あまの子のひろいミる／＼袖ふれて
 ちいさき舟を引すてゝをく
 馬屋よりいはひ出てやいにけらし
 砌りの野への草青ミぬる
 雨にしもあさけの露の置そひて
 幾重かふかき霧わたる空
 ほのかなる月は雲ぬにかくろひぬ
 嶺こへつゝも過る鴈かね
 陰高きやまのあなたや里ならん

玄與
 紹嘉
 久元
 喜庵
 宰相
 家久
 元綱
 玄與
 久賀
 紹嘉
 重長
 宗可
 紹嘉
 重位
 其阿
 重位

ミちつかれこしやとりからはや

幸相
家久

ちればさく花よりはなにめてあかて

ななきひめもすよめることの葉

鶯のなく音は近く馴てきぬ

やふしかくれに栖ひする比

分かたくとつるや道の八重律

おもはず秋のまたきたつ空

誰かしるひとり見へうき月の色

露のまをしき衣／＼のあと

身にしめておもふ涙ハこほれそひ

くりかへしつゝしのふいにしへ

四の緒をたつさへ出てひきならし

それかあらぬか村雨のをと

ふきかゆる茅屋の軒の板ひさし

すきまもれ入風さむけなり

うつミ火ハ更るよりなをよりそひて

をとろへぬれハかゝるつら杖

幾度かしミさすさうしひらき置

親のゆくゑをしたひこそすれ
はる／＼としのき入ぬる嵯峨の山

跡さきにしも爪木とる袖

幸相
家久

里人のさそひ出ぬるこゑすなり

さかりしられてをもぎ花の枝

なひきつゝねはふや露のいと柳

春をこのめる色ハまきれす

久賀八 紹嘉十 其阿八

元綱九 重長六 日説九

家久十一句 喜庵六 宗可七

「家久公御譜中」

「正文在石神十郎兵衛」

元和十年二月十二日

第三

賦何人連歌

花ちりて波にこもれる汀かな

あさ風なひく岸の青柳

蝶鳥のはふき出つゝ野をかけて

外面にうつる日ハさやかなり

山遠ミゆふへの月やまたるらん
まさりもて行秋のすゝしさ

幸相
家久

喜庵

玄與

久賀

日説

重位七

國隆三

久元五

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

軒ちかき竹のそよきに露落て
 ところ／＼にのこるあさかほ
 遙にもわくる冬野の袖ならし
 鐘ひゝきくる道のすゑ／＼
 奥ふかミ片山もとの寺有て
 いやたかくしもたてる杉むら
 露ふるゝ苔の雫に夏もなし
 しはしやすらふ川橋のうへ
 つかるれハ水かふ駒を引とめて
 見る／＼空は暮はてにけり
 雲まより洩いてにたる月の影
 すこししくれのまじる秋かせ
 散しけるまゝに木の葉の色ハおし
 たかわけかへる山のしたみち
 きくに猶聲もわひしき猿鳴て
 岩はつたひは霜そかさなる
 絶／＼になりにつらしなうす氷
 かへしそめたる小田のかたハラ
 とふ鴈は霞の内に遠さかり
 いつこさくらの花の嶺こえ

喜庵 國隆 久賀 重長 其阿 宗可 日説
 喜庵 國隆 久賀 重位 玄與 紹嘉 元綱 久元 日説 宗可 其阿 其阿 宗可 日説
 幸相 家久

たとりぬる道のかたへの暮初て
 まなひのこせるともし火のもと
 さしむかひ古きさうしを巻かへし
 身をしる雨に袖はぬれつゝ
 難面におもひかけしハあちきなや
 せめてハよそのかへさにもとへ
 兼言もあたし契りハいかにせん
 友にをくるゝあらましの山
 暮ぬれと月にまよハぬ道ならし
 つまを男鹿のあとしたふ聲
 野邊ハ今むら／＼にしも萩咲て
 枯生のすゝきなひきあふかけ
 誰か又しはしハ住もはてつらん
 うつすミヤこの跡ハさひしも
 もとめよるなには堀江のとまり船
 ゆふへをつくる鐘かすかなり
 かならすとちきり置しを忘るなよ
 あくへきころの見ゆるくる髪
 例ならず程ふるに身はおとろへて
 ものゝけしきハはなれかたしや

清昌 元綱 久元 重位 玄與 重長 宗可 日説 紹嘉
 喜庵 其阿 久賀 喜庵 其阿 久賀 宗可 日説 紹嘉
 幸相 家久 幸相 家久

おこなひもをこたるやたゝあさからめ

宰相
家久

くみすてにたる陰の山の井

日説

さかりなる花は月にし色そひて

其阿

ましへりつゝも春のともなひ

久元

長閑なる市のかり屋の袖おほみ

宰相
家久

すめはすまるゝかくれかの内

喜庵

あたしとて命を思ひくたすなよ

重位

すゝろにたとるさよの中山

宗可

甲斐か根やかさなる雲の底ならん

玄與

かきみたれつゝふれる白雪

元綱

道へたゝいさめる馬にまかせ來て

紹嘉

水ゆくかたのすゝし淺澤

日説

夏の日もはや暮そむる比ならし

其阿

歸る木こりの袖いそくなり

久賀

山高みあまけもよほす雲見えて

國隆

きけは折／＼鳩のうちなく

玄與

月おつる竹の林の奥ちかみ

宰相
重長

ひらけは窓に露の朝風

紹嘉

色うすき霧も雫やこほすらん

重位

越行に末なを遠し泊瀬山

玄與

おもふえにしをいのりこそせめ

其阿

みとりの袖もかきりこそあれ

日説

しのへたゝさうもいとふ身の向後

宰相
喜庵

むつまじからぬゆかりなりけり

紹嘉

香をさそふあとハあらしの花もおし

元綱

比良の根かけて霞む海つら

重長

遠近の波うらゝにも船出して

宗可

旅たつ袖そしはし見送る

玄與

よひ／＼に馴ぬる月や友ならん

宰相
家久

ろふの上にはあつさのこらす

其阿

秋風に横さま雨の降とをり

清昌

露おもけにもなひく草／＼

久賀

分わかる野原ハ道の遠からし

久元

たゝ一すちの水のゆくすゑ

紹嘉

法師の外にハ何をもとめまし

宰相
元綱

さめてのこらぬ夢のあけほの

家久

あふかひもたゝなつの夜ははかなしや

重位

ことはもらしもあへぬくやしき

日説

「家久公御譜中」

さきたつハこゝろいられのなミたにて

喜庵

うちそふはかり人のおもかけ

玄與

形見とて見るに思ひのます鏡

國隆

庭このミぬるあとの池水

紹嘉

えならぬや松の木のまの月の暮

宗可

かつ／＼ちれるつたのはかつら

久賀

立こむる霧をししのく宇津の山

重長

わすられぬこそ都なりけれ

其阿

いつまでか侘て住居の身ハ悲し

日説

あはれやつれもはつる衣手

元綱

いく千本花に分入道の末

重位

ぬるともよしや梅かえの露

久元

鶯の朝またきより音に鳴て

玄與△

四方に春日のしつかなる時

宰相

久元六

重長六

元綱八

其阿八

家久十一句

宗可七

紹嘉十

日説八

玄與十

清昌二

重位八

喜庵六

國隆五

久賀五

松平薩摩守相公家久卿依所望、
禁裏樂器之同巴之爭令
写之候也、

元和十曆

二月廿一日

四辻中納言
季繼

宮里壹岐正親

「本マ」
佐

「家久公御譜中」

「正文在伊地知藏之丞」

元和十年二月廿二日

賦何木連歌

さきにほふ梅や神かき千代の春

薩摩
宰相

松のあらしの長閑なる庭

重種

朝日影つもりつもりし雪消て

紹嘉

きよきなかれの月かすかなり

祐辰

空かけてたちゆく鷹のこゑ遠ミ

貞守

かる袖つゞく小田のかた／＼

尚演

ちり／＼になりてのこれるむらすゞき

重長

置霜はらふやま風のをと

喜庵

いつくにかかへてやとりをもとめまし
舟つなく江の波のかた岸

宗可
薩摩
宰相

なひきあふ陰の呉竹枝たれて

重種

こゑするかたにこ鳥あつまる

紹嘉

いつるよりひかりさやかにさしわたり

祐辰

うちそゝきたるむら雨のあと

貞守

露はたゝ草のはつかにむすほふれ

尚演

はつ秋ならしみきりすゝしき

重長

ミか月のかけほのめかす池のなミ

喜庵

ほたるをかせやさそひゆくらん

宗可
薩摩
宰相

夕かけて雲いるやまのみちほそミ

重種

寺あるかたのかねかすむこゑ

紹嘉

松杉の木のまさひしく花ちりて

祐辰

春のねくらにからすとひ行

貞守

はる／＼と歸る市路のなかき日に

尚演

えくるまゝにしやすらへる袖

重長

いろ／＼のむかしかたりハはてもなし

喜庵

あやにくになと明るみしか夜

宗可

きぬ／＼をいそくこゝろハいかゝせん
なげのなさけハ馴るもそうき

薩摩
宰相

一筆におもひの程を書あつめ
かたミのあふきうちをかぬ袖

重種
紹嘉

旅なるを露も忘れぬふるさとに

祐辰

今朝まで月をななめこそすれ

重長

よむ歌ハさらにあかなき友にして

貞守

あかしのなミにうかふつり舟

尚演

啼たちてゆくもしられぬうら千鳥

宗可

ちハらかすゑのくれわたるころ

紹嘉

枕かるかたもあら野の山嵐

重種

都の空そおもひやらるゝ

喜庵

なみたこそ身のうき時のよすかなれ

祐辰

待折／＼をつけてしもかな

貞守

たのミをく中のつかひハおほつかな

紹嘉

すくなるよゝに人そまれなる

尚演

うへてすむ竹のはやしの奥ふかミ

宗可

里のけふりのたえやらぬころ

重長

蚊のこゑハゆふへゆふへにしけかれや

喜庵

親にそひねハさりかたくこそ

重種

こよひしもかたらひあかす月のもと
なさけのほとそあたゝめてくむ

喜庵

色あせぬ花にもみちにまとゐして

薩摩 宰相

そともにつよくやまの遠こち

宗可

しはしたゝひらく朝戸の前わたり

祐辰

しのひてさそひいつる河舟

紹嘉

うき草になかるゝあとハ水すみて

喜庵

翅あまたに見ゆるむら鷲

貞守

ひき残す雲のゆくゑハ一かたに

重長

峯とをくしもつよくかけはし

重種

はつ霜ハきゆるかうへにふりそひて

薩摩 尚演

いとひわひたる床のさむしろ

宰相

枕はたうかふはかりのわか涙

宗可

ふたりあかさは夜なかゝらしな

喜庵

秋ハなをものあはれなる旅にして

紹嘉

朝ふミわくる露のあたしミ

薩摩 宰相

けふもはや月出る時にうつりきぬ

重商

はしゐになるゝ袖のすゝしき

宗可

夕たちの過ゆくあとハしつかにて

重長

こきはなれぬる波のとも舟

尚演

風やたゝこゝろのまゝに吹ぬらん

重種

木のはちり敷やまのかたハラ

祐辰

昔にしもましろこ草のかけしけミ

薩摩 宰相

あるゝ田面のすゑの岩かき

紹嘉

さし残る夕日なからもうすかれや

喜庵

ところ／＼に見ゆる河きり

宗可

くたしゆくいかたの舳にあきの風

貞守

さとハ大井のたく火すさまし

重種

月落てかへる嵯峨野のみち遠ミ

薩摩 尚演

なきこそつゝけ虫のこゑ／＼

宰相

一木二木さきそひにたる花のいろ

重種

ふりぬるあとも春ハとひけり

喜庵

たとりゆくかたや霞のふかゝらし

祐辰

つまこふきゝすしけきはねをと

紹嘉

はけしくも須戸のうら風ふき送り

宗可

つくるひかぬるかくれかの庵

薩摩 重長

すつる身もあまりになれハいかゝせん

宰相

さやけき月にかゝるうき雲

貞守

露はかり外山やしくれそめぬらし

喜庵

いろもひとしはあきのくさむら

重種

ぬきかけしぬし誰ならん藤はかま

紹嘉

のちのあしたのおもひかなしも

尚演

つれなきに中／＼こゝろつくさまし

薩摩 宰相

ひめをくのりへつたへかたしや

宗可

引駒へくちのまに／＼したかひて

紹嘉

送りむかへるあふ坂の関

重長

幾度もかさねかさぬるさかつぎに

重種

としみつすゑをいわふけふのか

喜庵

絲竹のしらへハさらになゝならて

尚演

すのもとちかくかこちよる人

紹嘉

なそへなくめくミあるよのまつりこと

薩摩 宰相

民もゆたかにすミそならへる

祐辰

まはらなるかりほハ花にかこハせて

重長

さかへさかふるかけのふちか枝

貞守

宰相十四句 重種十三 宗可十一

紹嘉十三

重商一 祐辰九 貞守九 尚演十 重長九

嘉庵十一

1847

「家久公御譜中」

「正文在琉球國司文庫」

覺

一上布之事、

一下布之事、

一舟網之事、但赤網・黒網

一椶侶皮之事、

一牛皮之事、

一菜種子油之事、

一久米綿之事、

一黒木之事、

右物數他國ニ曾出間敷候、若相背葺於有之者、科物可被相懸候、此旨堅可被仰渡者也、仍如件、

元和十年子三月十七日

伊勢兵部少輔(花押)

三原備中守(花押)

喜入攝津守(花押)

下野守(花押)

1846 「家久公御譜中」

元和十年二月晦日、

今上皇帝改年號爲寛永元年矣、

琉球

三司官

1848

「家久公御譜中」

「正文在琉球國司文庫」

猶々銀子二十枚・中紙千帖進覽之、聊補慶儀計候、
以上、

當春之爲祝詞、早々預使札、殊太平布百端・燒酒三壺、
欣然芳染之至也、抑當年 公方様以御錠致在國之条、節

々可申通者也、猶相達口上不詳候、恐懼不宣、

三月十八日

宰相家久(花押)

進献 中山王

1849

「家久公御譜中」

「正文在琉球國司」

使具志川按司被祝當年之禮詞、珍重多幸、於日本 大將
軍之仁行猶日々篤、可謂吁咈之治者乎、是被諸侯懷惠、
親子夫婦皆以遷居關東之新都矣、予亦茲今幼子愚婦侍与
欲赴於新都、國中之大儀不可勝計、請察知之、次貴國方
物所録于別楮具相達矣、至於遠界厚志還痛情耳、猶讓於
具志川按司演説、而令看略者也、恐惶不宣、

「朱力斗」
「寛永元年」四月十一日

宰相家久

進献中山王

1850

「兒玉氏譜中」

寛永元年甲子五月八日、公臨於市來伴右衛門惟清宅、
乃與從臣賦連歌、利昌亦陪筵爲六句焉、

1851

「写兒玉氏藏眞本市來次
左衛門藏書」
「御懷紙包紙」

寛永元年子五月八日

法樂 惟宗家尚

薩州様御三殿御成之時」

寛永元年五月八日

賦何船連歌

待月のかげや長夜の夏の空
はつこゑいそけ山ほととぎす
雨のこる尾上の雲にこす巻て
みとりそひゆく軒の青柳
くれ竹のそよきいてたる春の風
かへす田面につゞく一むら
せきわくる笥の水のすゑ／＼に
幾すちならしわたる柴はし
はる／＼と里のおくにも里みえて
つま木のけふりたちのほる暮

「家久公」

宰相

「市來伴右衛門」
惟清

「阿蘇黒齋」
玄与

「鶴津下野守」
久元

「三原飛彈守」
重長

「山田民部少輔」
有栄

「兒玉筑後守」
利昌

宰相

惟清

玄与

入相の鐘やかすかにひくらん
久元

やとりもとめてみちいそく也
重長

乗こまもつかるゝまゝにむちうちて
有榮

まつりのにはも時そすぎぬる
利昌

なさけたゝあまりなるまで汲かはし
宰相

まれに間來てさしむかふ中
惟清

たのむこそあさからさりしつかひなれ
玄与

かきおくりぬる文のこまかさ
久元

ひとりたゝおほる月にも詠して
重長

琴のしらへも長閑なる袖
有榮

木／＼ハみな咲そろひたる花の庭
政喬

あさけしつかに小蝶とふなり
宰相

さしうつる野へよりの邊の日のひかり
利昌

下にはのこる露のさゝハラ
國隆

ふるもたゝ秋の時雨のひとをり
惟清

吹たつかせの音そ身にしむ
玄与

暮より澄のほる月の影高み
久元

雲ハかたよる岡こえの松
重長

よちのほる岩尾の苔路木傳に
宰相

はこふま柴の袖のくるしさ
利昌

はらひえぬ雪のすか笠いかゝせん
國隆

かよふもはかなたまほこのすゑ
久元

たゝくにもあけぬ戸ほそはうき心
玄与

人たかへとはゑやハいはまし
重長

たのめをくそのかねことハわすられて
利昌

ひろきおしへの法のしな／＼
宰相

ゆくかたハほしをしるへの奥津舟
國隆

浪のうへより明はつる雲
玄与

みる／＼も山のは遠き鷹のこゑ
宰相

秋たつかせのわたる折／＼
有榮

露なから竹のはいりの小屋の内
重長

梅ちりつくし咲春の花
惟清

かきこむる外面の山やかすむらん
利昌

かたへにうつる日ハうらゝなり
久元

宰相七句

惟清五

玄与六

久元六

重長六

有榮四

『宰相玉二
市來伴右衛門殿

惟清玉
阿蘇殿

玄与玉一
嶋津下野守殿

久元玉一
三原飛彈守殿

重長玉一
山田民部少輔殿

有榮玉
有榮玉

利昌六 兒玉筑後守殿 利昌玉一 六
 國隆三 比志嶋宮内少輔殿 國隆三 三
 政喬一 鎌田源八殿 政喬一 一

『中納言様被遊御成伴右衛門屋敷ニ而御連衆ニ而候、

又三郎様 又十郎様も御若輩之時分御同心被成候、永

々忝奉存候、執筆ハ鎌田源八殿ニて候、子孫ニも此懷

紙秘藏可仕者也、

寛永元年子五月八日

「此連歌、家久公御譜中ニ在リ」

「正文在市來平左衛門トアリ」

「本ニ者家尚とハ、家久様ニ遠慮也」
市來伴右衛門惟清」

『御献立

ふな

燕乳 おやし汁

いりさけ

こりもミ

御めし

二

竹子すみそ

こしもと 鹿汁

さき鳥

三

かゝの物 もつくひや汁
ふたからしす

四め

きす たてす

引テ あゆ

きす 小鳥鍋にて
うなき こくしひい森
たうふ

御看せんし川ざこ しめち

しよし 石かい うほの子

御菓子ふのやき 山のいも

後段

さうめん

御さかないろく

御三殿様申請候時、國分十右衛門殿・相良玄蕃允殿御

座奉行、

寛永元年子五月八日

市來伴右衛門尉』

(本文ハ全文朱書ナリ)

『兒玉筑後利昌譜中』

寛永元年甲子○利昌出入與 公親近、號爲愛幸、忠勳稱
旨無所虧損、百僚皆敬利昌、多因闕說者、是歲八月蒲池
備中入道仲如就川上式部太輔久國等、請嗣子事、乃久國
等因利昌白 公、公亦此類多使利昌傳於有司爲常、後
不悉書、

『兒玉氏家藏』

覺

一 去年以來より佐八郎重く出相之儀被仰聞せ候、實正之

儀不存候得共、ケ様成人を格護申不存事ニ某迷惑申候、

就夫親子之間相はなれ候事、

一 上様毎年御上洛候、其上當年御曹子様御同心被成由候、

御太儀之様子難申盡候、諸侍事も每々御供被申候処ニ、

拙子事年にて候得者、御奉公不申上殘多奉存候事、

一 大事之御知行被下罷居、御奉公諸人並ニ不申上咲止ニ

存候、殊ニ番代仕人無之候得者、普代御奉公申來候儀

も徒ニ罷成、迷惑ニ存候間、御軍役も可相勤人候へ、

被仰付候而被下候様ニ御宅ニ奉存候、佐八郎子共候得

共若輩之儀候間、當分御用ニ不立者ニ而候間、知行可

遣事難成候、乍去高を差分申事いかゝに候得共、拙子

高之内少も被下候へ、御意次第ニ候事、

右之条々可然様ニ御披露奉頼候、以上、

子八月七日

川上式部太輔殿

市來掃部助殿

穎娃長左衛門尉殿

參

蒲池備中入道(花押)

『仲如』

『家久公御譜中』

『正文在琉球國司文庫』

定

一 三司官其外諸役職之扶持方、自今以後者可爲御分別次

第之事、

一 科人死罪流罪之儀、此方ニ不及御伺、御分別次第たる

へき事、

一 日本名を付日本支度仕候者、かたく可爲停止事、

一 おりめまつりの儀、此方御藏入之分者、耕作時分不違

やうにと被仰付候、御分領之儀者御分別次第たるへく

候事、

一 他國人其地へ參儀可爲停止事、

右條々向後不可有違篇者也、
寛永元年子八月廿日

比志嶋宮内少輔(花押)

伊勢兵部少輔(花押)

鳴津下野守(花押)

三司官

鳴津下野守(花押)

1856

「家久公御譜中」

「正文在琉球國司文庫」

他國へ不出物定之事、

一 上布之事、

一 黒つく・赤つく并しゆるの皮之事、

一 焼酒之事、

一 よろつ蕙之事、

一 芭蕉布之事、付はせを学之事、

一 綿之事、

一 菜たねの事、

右條々不可有緩者也、仍法度如件、

寛永元年子八月廿日

比志嶋宮内少輔(花押)

伊勢兵部少輔(花押)

1857

「北郷翁久譜中」

寛永元年甲子八月二十二日、家久公加冠於長千代丸並

弟虎菊丸、元服於廳府城、賜名於山城翁久長千代丸、權頭忠亮、

虎菊、理髮翁久者島津下野久元也、忠亮者伊勢兵部貞昌

也、獻太刀・鎧甲・弓征矢・鞍馬、賜御刀作備前、並御太刀一

腰・御馬代青蚨百貫於翁久、御刀江、一腰於忠亮也、

1858

「光久公御譜中」

光久

男女十人

女子

寛永元年甲子九月十四日誕生、母鎌田政重女、

家臣島津筑前久頼室、

正保元年甲申七月十九日早世、歳二十一、法名月桂

貞秋、

1859

「光久公御譜中」

寛永元甲子歳十月十四日於麿城元服、號又三郎忠元、父
家久加冠、家臣島津下野久元理髮、

「元和二年ノ御生ナレハ、御年九歳ニ當レリ」

賞

一大閣様御下向之刻、國府御かミ様御人質ニ御上洛にて
候、御褒美として高壱万斛御一代無公役ニ御給候事、

一関ヶ原一亂之後、御國本之儀もいかゞ候する哉と、御

念遣候砌、我か息女人質ニ召上せ被成候而、直ニ御家
之御爲として、松平河内守殿へ御縁組候、人質迄之儀

候ハ、妹へ替り候て可罷下處ニ、無其儀上方にて相

果候、御家之御奉公如此候、右之様子ニ付知行之事、

此中申度存候へとも、江戸之上下毎年被成御辛勞候處

ニ、我身無公役ニ千石被下置候間、當時之堪忍さへ調

候ハ、一者御奉公と存、菟角不申候、然処ニ寶壽院

殿養子ニ可申之由、黃門様より御意にて候、左候へ

ハ今之知行にてハ以來御奉公續ましく候間、申候事、

一妹事も爲人質江戸へ相詰候、其褒美として高三千石無

公役ニ給候事、
〔御称下、伊集院忠真室、後継下野守久元、慶安二月十七日卒〕

右先例有之儀候間、宝壽院殿江も知行御給候様ニ申度

候、是を我に給候へと申事にてハ無之候、此由具ニ披

露候て可預候、我か娘計御手付なき事迷惑ニ候、可然

様ニ可有申候、

〔朱カキ〕

〔寛永元年〕

子拾月十四日

〔推新公御嫡女島津豊後守朝久室也、
帖佐 称御屋地、寛永十三年十一月
十一日卒去也〕

屋地

穎娃長左衛門尉殿

澁谷四郎左衛門尉殿

「此一書家久公御譜中ニ在リ、糺合誤ナシ」

〔張紙〕

「此一書家久公御譜中ニ相洩ル、」

御判

留主中法度之条々

一今度江戸江東丸幼少之子共同道を以凌遠路之波濤、令

難行苦行、加之幼稚之兩子殘置、不淺心遣之儀難伸言

語次第ニ候之処、左様之儀をも不染心肝、結句在江戸

之留守を幸ニ存、誇自由之依怙、御奉公方疎略之輩者、

僧俗男女によらず不可爲御家頼事、

一諸士馬鞍・弓鏹・鉄炮并玉藥等之嗜を忘、或家居をか

さり、或女房已下之衣裳等をもつはらにいたす儀非本

意候間、先武士之道具を第一ニ相調、其餘之儀者第二

たるへき事、

一諸士毎朝可致出仕事、

一夜行停止之事、

一留守中者晴かましき儀茂有之間敷候間、諸士衣裳等其

外花麗なる儀共可爲停止、就中私振廻こさえさる様ニ

可有之候、然者二汁二菜たるへき事、付木具之もの法

度たるへく候、引菜者可爲此外事、

一他所之商人諸郷江出入停止之事、

一屋形之儀夜入時分に立て候而、若無餘儀出入候へて不

叶人有之者、本番衆之内慥成衆罷出、あけたての儀可

申付候、四ツ時分よりさせる於無用者、出入堅可爲停

止事、

一藏入并諸役人算用之上を以、押米・押銀等之上納物之

儀、先年已來お于今不相濟衆曲事甚重候之間、任先例

於無沙汰之人者知行可被召揚事、

一於算用所日記を不出衆自由之至曲事ニ候間、同前之變

たるへき事、

一辻きり在之上者、火をもたす通ものあらハ可搦捕、も

し辻きり衆ニいたり或刀を抜、或致過言不及了簡事あ

らハ、則可相果事、

一辻歌かたく可爲停止事、

一落書など其外みたりなる事仕もの承立披露候者、可加

褒美事、

一はくちの儀、士町人等不依、可爲停止事、

一一向宗・きりしたん宗之儀、不新雖爲法度、右宗旨之

儀弥かたく可爲法度事、

一老中お奉公方之儀可申付時、侘之儀一度ハさもあるへ

き候、重而難澁之輩者、無用捨曲事之段可被申付候、

一留守中別而酒女之嗜可爲肝要事、

一諸口事之儀下くにて可相濟事を令違乱、公義江於申出

者、非に決定候者應其科之淺深、至士者或令追放其身、

或可令没取知行候、於下く者或遠流、或科物、家財檢

断等之可爲沙汰事、

右条く不可有緩疎者也、

寛永元年十一月十三日

1862 慈眼院様御袖判 「加治木旧記にあり」

一今度江東之丸幼少之子とも以同道、遠路波濤令難儀苦

行、加之幼稚之兩子殘置、不淺心遣之儀難伸言語次第

候処、左様之儀をも不備心肝、結句在江戸留主を幸に

存し、誇自由依怙、御奉公方疎略之輩者、僧俗男女によらず不可爲御家類候事、

一諸士馬鞍・弓鉄砲并玉藥等之嗜を忘れ置、或ハ家居を莊ひ、或ハ女房以下衣裳等を専らにいたす儀、本意にあらず候間、先武士道具を第一に相調、其餘之儀可爲第二事、

一諸士毎朝可致出仕事、

一加治木之儀者當時家老分之衆依無之、比志島掃部助・

本田源右衛門など談合いたし諸事申渡、若題目之儀有之者鹿兒島江相尋ね、其上を以可申付儀定置候条、右之衆申候様何事も分別いたすべき事、

一老中より奉公之儀可申付時、佗之儀老度ハ左も可有候、重而難澁之輩有之におひて、無用捨曲事之段可申付候事、

一加治木衆中之儀者連々氣任有之間、留主中猶以可爲其分、自然氣任之輩悪行仕におひて者、右兩人より鹿兒島江申談、曲事之段可申付候事、

一一向宗・幾利支丹宗之儀、不新雖法度、右宗躰之儀弥堅く可爲肝要事、

一夜行・辻歌堅停止之事、

一先年一向宗祈念いたす男女ともに致崇敬、一向宗におひて祈念とも仕候儀重罪之至なり、向後如此輩におひて者可處嚴科事、

一御國之爲、所之用に立へき物沙汰承付るにおひて者、役人中まで可致披露処、左様無之、落書などを仕、所を乱候やうに成行儀、堅可爲停止事、

一士・町人・百姓等によらず博奕停止事、

附たはこ可爲同前事、

一自然所之煩成族之者聞立致披露たらん人者、可加褒美事、

寛永元年十二月八日

1863 「家久公御譜中」

家久嘗蒙 大權現殊恩、欲報無由、顧今天下漸治、然闔

國諸侯唯置質於江府、各還領國、未可謂安泰之術、我此時率妻子而奉仕于武江、僅可報厚恩之萬一乎、家臣伊勢兵部少輔貞昌者土井大炊頭利勝之莫逆也、乃以貞昌蜜談

此旨於利勝而后上言、秀忠公大感之曰、泰平之基豈過之乎、家久之忠不可忘矣、於是今茲冬十一月、家久率夫

人及息男兄弟三人又三郎忠元・若松丸・萬千代丸、發鷹島日不赴武都、時伊

勢貞昌亦率妻子爲供奉、十二月十日出船從薩州出水瀨之浦、翌年二月二日着船于大坂、少間憩息船中之寢窟、而后至伏見淹留越年于茲矣、

「此御譜中發鷹島日不知トアリ、左ニ兒玉利昌譜中ヲ以テ考フレハ十一月十四日也、參照スヘシ」

1864 「光久公御譜中」

寬永元年十一月十三日從父首途於鷹府赴武城、十二月十日解纜于出水瀨之浦、翌年二月二日著船于大坂、三月十八日發伏見、四月十二日參著江戶云々、

1865 「北郷久加譜中」

寬永元年甲子十一月、家久公參勤於武城、久加供奉、而翌年六月賜暇歸國、

1866 「樺山久高譜中」

寬永元年甲子十一月、太守家久卿以參觀之禮、令赴武州江戶城、且與息男忠元其弟久直并簾中相俱、已發鷹島到海濱、撰吉日與順風乘船解纜、先繫船於獅子島、山海之爲遊覽者有曰、此時久高改樺山權左衛門尉被任美濃守、

賜脇指^{治工}冬廣也、息男改休太郎被任安藝守畢、

1867 『兒玉利昌譜中』

寬永元年甲子〇十一月 公以 世子^{即爲寬陽公}及 慶安夫人等如江戶、十四日俱發鷹城、蓋此行利昌以納殿役從、十二月十日揚帆瀨浦出、二年乙丑二月二日着船大坂、四月十三日至江戶、

1868 「家久公御譜中」

爲歲暮嘉祥、小袖五重被相贈之、憚然之至候、猶本多上野介可申候、謹言、

十二月廿三日 秀忠 ○^{「墨印」}

薩^薩宰相殿

1869 「家久公御譜中」

猶々過分候旨能々御申奉頼、委細御使へ申入候、爲歲暮御礼、御門跡様へ昆布一折・御樽老荷御進上候、

「正文在文庫」

三井寺ニ御座候間、拙者請取申、從是可申上候、拙子ニ御小袖老ッ綾被下候、被思召寄忝奉存候、令伺公御礼可申入候、可然候様可預御取成候、恐々謹言、

〔朱カキ〕
〔寛永元年〕

十二月廿八日

友枕齋

如(花押)

伊勢兵部少輔殿

〔本文書ハ「日記雜錄後編三」一七五六号文書
同文ナリ、但シ朱注ニ慶長七年歿トアリ〕

1870 「家久公御譜中」

寛永二年乙丑、家久從舊臘在于伏見假亭迎新年、是匪啻以幼弱而已、且以有輕忌之事也矣、

1871 「光久公御譜中」

十二月十日解纜于出水瀨之浦、翌年二月二日著船于大坂、三月十八日發伏見、四月十二日參着江戸、同廿三日與家久俱登營、拜謁大相國秀忠公・將軍家光公、此時也忠元才十歲、次第又八郎忠平亦隨取拜謁矣、伺候之列士褒其進退美也、

1872 「兵庫忠朗譜中」

寛永二年許質賜暇、故隨從家久公登玉城、奉謁大將軍秀忠公賜寶刀、同日登西丸、拜謁大納言家光公惠給寶刀、其後上使土井大炊頭利勝入來家久公亭、賜龍蹄一匹・單衣五十・黃金百葉・白銀五百葉於忠朗、家光公亦賜單衣三十・黃金三十枚・白銀百枚、同年五月二十六日發江府、同七月下著隅州加治木、

1873 「家久公御譜中」

同年三月十八日家久以幼弱、發伏見赴于武都、此時秀忠公感家久志、降命於東海道五十三驛、賜驛馬及丁夫、隨用無際限、既而經二十五日、四月十三日晡時到著于江府入櫻田第、則以使者告參府於御老中、遂達上聽、翌日賜上使、則談土井利勝・井上正就、而十七日欲拜謁兩御所、雖然又三郎腹中有不快故延引、而二十三日家久及又三郎・岩松丸父子三人俱共登營、各獻祝幣、奉拜謁大樹公、時公曰、家久遙以幼弱來、實大義也、此外數言有懇懇、於西丸亦然、家臣始貞昌數輩遂拜謁、而家久及兩男下營矣、

1874 「正文在感應寺」

1875

手形
 本佐實野原六番
 一松卷本 長五尋老尺、本之口六尺廻、
 大迫頭廿番
 一松卷本 長六尋、本之口七尺廻、
 同所州二番
 一同卷本 長六尋式尺、本之口六尺廻、

合松三本

右者出水野田村之内、長谷山江有之風朽木、感應寺修理ニ入由被申ニ付被申給候間、手形於無相違者可被引渡やうニ可被仰付者也、

寛永二年卯月十二日

栢山美濃守殿

比志嶋宮内少輔判

下野守

「古御文書廿七卷中」「家久公御譜中ニ在リ」

尊書拜見、忝奉存候、然者旧冬御國御立被成候へ共、海上荒申候故、途中ニ而被成御越年、其上少御差合御座候付而御延引被成、一昨晚當地御着之由、御太儀共ニ奉存候、將亦御出仕之儀、御息様初而御目見之儀ニ御座候条、日柄をも被成御撰度由、土大炊迄御内談被成、十七日過候而御礼可被仰上之旨、御尤之御事ニ候、如何様致伺公

1876

可奉得貴意候、恐惶謹言、
〔朱力平〕
〔寛永二年〕 卯月十四日

正就(花押)

〔在口裏〕
 井上主計頭

〔在口裏〕
 松平薩厂守様
 貴報

正就

「家久公御譜中」
 「正文在肝付甚兵衛」

わざと申候、ふしミをやよひ十八日にたちいて、卯月十三日此方につき申候、みちすから花もやうくちりつくし、ふしの雪ものこりすくななるけしき、いつよりも心すこくなかめにいり、うたなどよミ侍り、其方の事共思ひやり、うつらくとあんしやりたる計候、此方一しほしあへせよく、上様よりもやかて御使きたされ、かたしけなくこそ候へ、こゝろ安く思ひ候へく候、御め見えも此十八日にて候間、やかてそのしあへせ、又これより申へく候、まつ申へきたために候、又く、かしこ、

〔朱カキ〕
「寛永二年」卯月 十六日 江戸より

菊もし
まいる
いゑ久

1877
「古御文書廿七卷中」「家久公御譜中ニ在リ」

尊書拜見仕候、隨而又三郎殿御虫氣すぎと御快氣ニ付而、
廿三日吉日故、兩御城江可被成御上之由、一段尤奉存候、
先日如申入候、何時にても可被成 御對面之旨御意候、
間、弥廿三日可然奉存候、恐惶謹言、

〔朱カキ〕
「寛永二年」卯月廿日 利勝(花押)

土井大炊頭

家久様

貴報

利勝

1878
一寛永二年丑四月廿日、太守家久公伊勢内記宅江御成、

若竹ト云題ニテ詠歌、

色かへぬ若竹の葉の世くろへん

みぎりへいつれ久からまし

「右ノ御供島津下野守・伊勢兵部少輔、皆ミ詠歌・詩作有之、略ス」

1879
「家久公御譜中」

「正文在顯娃左京久甫」

猶々おいまをはしめころへ申度候、又々かしこ、
きのふ廿三日 りよう御しよ様へ御め見え申候、いつに
すくれしあへせよくまんそく申候、たひく御ことはを
かけられ、はるくと子ともひきこし、大儀におほしめ
し候よし 御意にて候、此たひは一しほのしあへせにて、
したくまでのよしある事にて候、ころろ安く思ひ候
へく候、まづ申候、又やかて人して申へく候、めて度く、
かしこ、

卯月 /

ゑとより

廿四日

菊もし

まいる

いゑ久

1880
「家久公御譜中」「光久公御譜中ニモ有之」

「正文在文庫」

已上

急度令啓上候、然者薩州様御父子 御目見得之儀、可爲

1881

「家久公御譜中」

「正文在種子島藏人久時」

已上

到遠境爲見舞使被差上候、喜悅之至候、爰元一段靜謐候間、可安心候、將又銀子五枚爲音信到來、令祝着候、猶

去十八日之由候之処、又三郎様少御腹中心ニ御座候而相延申候て、昨日廿三日御禮被仰上候、今度者皆々御同道之故、兩御所様御機嫌不大形候、御兄弟様御前へ御差出候而、御様子共皆々御褒美候之間、目出度候、此等之旨早々爲可被仰、早打被差下候、委細者跡々下衆共御座候間、可被仰遣候、先々御目見得之一篇爲可被仰如此候、此段御三方へ被仰上候、猶期後首之時候、恐惶謹言、

「朱力キ」

「寛永二年」

卯月廿四日

伊勢兵部少輔

貞昌(花押)

喜入攝津守

忠政(花押)

比志嶋宮内少輔様

下野守様

人々御中

1882

「家久公御譜中」

委細之段口上ニ相含候之条、不能詳候、謹言、
「朱力キ」
「寛永二年」卯月廿七日 家久(花押)

種子嶋武藏守殿

同年五月五日、土井大煩頭利勝爲大相國秀忠公使來家

久櫻田第、時家久他出、故利勝不對面還、家久聞之、乃

雖至利勝宅不在、故留言不逢而還、翌日登營奉謝日之

昨賜上使之厚意矣、

1883

「古御文書廿七卷中」 「家久公御譜中ニ在リ」

内々從是可申上之処、尊書忝奉存候、如御意昨日者爲

上使致伺公候得共、御他行故不能拜顏候、併頓而被聞召

付拙宿へ御光儀之由、爲入御念儀ニ御座候、如御紙面後

刻四時分御左右可申上候間、御登城可被成候、恐惶謹

言、

「朱力キ」

「寛永二年」五月六日

利勝(花押)

「在口裏」

土井大炊

家久様

貴報

「家久公御譜中」

息男又八郎忠平自元和五年四歲夏至今茲七年、爲當家質而在府、故賜暇將還于本邦、於是乎 家光公賜駿馬一匹於忠平、家久以書至酒井忠世、拜謝賜之忝、則忠世之回答如左矣、

「正文在上野仲兵衛」

以上

尊書忝拜見仕候、如被仰下候、又八郎殿御拜領之御馬爲引進候處、被爲入御念貴札之趣、却可迷惑仕候、何樣貴面之節可得御意候間、不能一二候、恐惶謹言、
〔朱力半〕
〔寛永二年〕五月十七日 忠世〔花押〕

〔在口裏〕

松平薩摩守様

尊報

酒井雅樂頭

忠世

「光久公御譜中」

光久

男女十一人略

正勝

初政由 政昭 政直 政信 松千代丸 又七郎
筑後 藏人
寛永二年乙丑六月十三日生、母家臣牧源兵衛胤親女、

家臣鎌田治部政統之養嗣、

寛文六年丙午六月四日死、法號義雲紹高大居士、

女子

寛永二年乙丑七月三日誕生、母光久一腹、

家臣肝付伴兵衛兼屋室、

寛文十一年辛亥六月三日死、法號芳屋雲英庵主、

女子

寛永二年乙丑十一月十六日誕生、不日夭亡、母家

臣崎山八右衛門盛秀女、

「薩州家譜中」

備前守忠清之子

女子

太守家久公御簾中

慶長五庚子年誕生于肥後、母皆吉久右衛門續能小西攝津

守行長之臣、之女、

愛幸于 太守家久公、生 光久公十九代、及北郷式部

太輔久直・島津玄蕃忠記・女子二人、一女者忠記之姉、一女者忠記之姉

而嫁肝屬半兵衛兼屋、卒立爲 國夫人、

寬永二乙丑年七月二十一日逝於江戸第、號心應慶

安大姉、安置牌于惠燈院、

— 忠影

又助

慶長九年甲辰於肥後州生、母同、

爲新納近江久元之後嗣、號新納近江也、久元者島津

男也、辭新納家復于忠長之家

之後、忠影相統于新納家也、
寬永五年戊戌十二月廿九日死、法號大鑑宗智、

— 久基

1888 「家久公御譜中」

同年七月二十二日家久之廉中逝去、是今日三日產一女子、

而後身體不快遂爾也、

是年家久久聞大明皇帝將渡使於中山國、則爲聞知事由、

遣使節於球王、情見于書矣、

1889 「正文在琉球國司文庫」

余來絕音問候、仍從唐使被差渡之由、其聞候、如何様之

珍儀共御座候哉、爲可承合此使申付候、日本人出入當時

用捨入儀候者、可致其心得之由申聞候、次唐江用物之儀

以目錄申候、相調候様御入魂所仰候、委細相達口上候間、

以御熟談可有御分別候、恐惶謹言、

「朱力半」 宰相家久(花押)

進獻 中山王

1890

「家久公御譜中」
「正文在上野仲兵衛」

以上

尊札辱拜見仕候、明後五日ニ被召寄之儀、過分至極奉存

候、任貴意 御城隙明次第致伺(候力)可申上候、恐惶謹言、

「朱力半」 重昌(花押)
「寬永二年」 九月三日

「在口裏」

板倉内膳正

松平薩摩守様 尊報

重昌

「古御文書廿七卷中」「家久公御譜中ニ在リ」

猶以此中何角不得隙候て、御見廻とも不申上、所存之外御座候、以上、

尊墨忝拜見仕候、如御意今日 勅使來へ御對面之御事ニ候、昨日本上州右之通申上候通、被申聞候、一段尤与申事ニ御座候、晝時分之御對面ニ候間、其御加減被成、御裝束候て御登 城可然奉存候、如御意於 御城可得尊意候、恐惶謹言、

「朱カキ」
「寛永二年」九月六日 利勝(花押)

「口裏ニ有リ」

土井大炊助

「口裏ニアリ」
家久様

利勝

貴報

「古御文書廿七卷中」「家久公御譜中ニ在リ」

尚以御番ニ差合御見廻不申上、御殘多奉存候、以上、一筆致啓上候、今朝者於御城早々得尊意候、然者明九日之晚可參之旨御約束申上候處、井上筑後殿忌明被罷出候付御番替、明日者私夕御番ニ而御座候間、可被成御免候、日本之神を偽ニ而無御座候、何様致伺可奉得尊意候、

恐惶謹言、

「朱カキ」
「寛永二年」九月八日 正重(花押)

秋山修理亮

「在口裏」
松平薩州様

參人々御中

正重

「家久公御譜中」

「正文在琉球國司」

覚

- 一 今度御物之銀子百貫目被遣候事、
- 一 右之外ニ御物銀子貳拾貫目三ハリ利ス、「本マ、」借銀被申事、
- 一 今度山鹿越右衛門尉へ唐物隠候糺明之事、
- 一 八重間へ參たる南蛮人、今度琉球へ差下候事、
- 一 老奴出銀今年一年之儀、半分御免之事、
- 一 爰許之錢、後日琉球へ可相渡談合之事、
- 一 琉球へ住宅之他國人被爲上問敷事、
- 一 津見被成御下候事、
- 一 松齡様御年廻ニ付竹心甘把・油貳壺榼相届候事、
- 寛永貳年拾月朔日 比志嶋宮内少輔

喜入攝津守

嶋津下野守

三司官

1894 「古御文書廿七卷中」「家久公御譜中ニ在リ」

猶以御判形被成御直之由、一段見事ニ御座候、以上、

先刻も尊書忝奉存候、然者又三郎殿御煩追日御快氣之由、

か様成目出度御事御座有間敷候、此中御公家衆御下向付、

何角不得隙候故、御物遠ニ付而以使者申上候処ニ、爲入

御念尊墨忝奉存候、猶期拜顔之時候、恐惶謹言、

「朱カキ」
「寛永二年」霜月廿九日 利勝(花押)

土井大炊頭

利勝

「口裏ニアリ」
家久様

尊報

1895 「古御文書廿七卷中」「家久公御譜中ニ在リ」

今朝者被爲召寄、種々御懇意之段忝奉存候、尤以參上御

禮可申上候得共、堅無用之由任御意、不能其儀候、乍自

由爲御礼一筆致啓上候、恐惶謹言、

「朱カキ」
「寛永二年」極月十四日 正勝(花押)

稻葉丹後守

「在口裏」
松平薩摩守様
人々御中

正勝

1896 「家久公御譜中」

嫡子又三郎忠元有病、於是蒙 兩御所御懇之命、因家久

登 營奉謝之矣、

1897 「古御文書廿七卷中」「家久公御譜中ニ在リ」

以上

貴札拜見仕候、仍又三郎殿御煩ニ付而、從 兩御所様御

錠之段々忝被思食、爲御礼今日西之丸江御登城之由、奉

得其意候、將軍様者今日御鷹野へ被爲成候間、明日とも

御出仕可然御坐候へん哉、委細自是御左右可申上候、恐

惶謹言、

「朱カキ」
「寛永二年」十二月十八日 忠世(花押)

コ
ロ
裏
ニア
リ
シ
薩
摩
守
様
貴
報

酒
井
雅
樂
頭
忠
世

文
書
目
録

例言

- 一 この目録は、本巻に収められた文書・記録・記事の全部を、底本の配列に従い、通し番号を付して収録したものである。
- 一 文書は、番号のほか、年月日、文書題を記載し、記録・記事は、年月日の欄に（記録又は記事）と記し、題を付した。
- 一 文書の年月日のうち、原文書記載の年紀はそのままとし、補筆（朱書または朱カキの注あり）の年紀は（ ）で囲み、疑義のあるものは「 」で囲んで区別した。
- 一 年紀を欠くものうち、推定しうるものは「 〽 」で囲んだ。
- 一 月の異称は数字に改めたが正月、朔日、晦日などはそのまま残した。

卷五十九

- 一 (記事) 島津家久譜
- 二 (慶長 十年) 正月 三日 本多正純書狀
- 三 (慶長 十年) 正月 八日 昭高院如雪運書狀
- 四 慶長 十年 白山神領知行目録
- 五 (慶長 十年) 正月 十日 島津竜伯義久書狀
- 六 (慶長 十年) 正月 十日 島津惟新弘義書狀
- 七 (慶長 十年) 正月 十一日 徳川家康御内書
- 八 (慶長 十年) 正月 十一日 飛鳥井雅庸書狀
- 九 (慶長 十年) 正月 廿四日 近衛竜山前久書狀
- 一〇 (慶長 十年) 二月 十三日 山口直友書狀
- 一一 (記事) 島津家久譜
- 一二 (慶長 十年) 二月 廿日 福島正則書狀
- 一三 (記事) 島津家久譜
- 一四 (慶長 十年) 二月 廿一日 片桐且元書狀
- 一五 (慶長 十年) 二月 廿一日 片桐貞隆書狀
- 一六 (慶長 十年) 二月 廿二日 山口直友書狀
- 一七 (記事) 樺山久高譜
- 一八 慶長 十年 二月 廿七日 某覚書
- 一九 (記録) 樺山紹劍自記
- 二〇 (慶長 十年) 三月 五日 本田正親書狀
- 二一 (慶長 十年) 三月 十一日 本多正純書狀
- 二二 (記事) 島津家久譜

- 二三 (慶長 十年) 三月 十九日 島津忠恒家久書狀
- 二四 (記事) 北郷久加譜
- 二五 三月 廿三日 島津竜伯書狀
- 二六 (記事) 島津家久譜
- 二七 (慶長 十年) 三月 廿六日 本多正純書狀
- 二八 (慶長 十年) 三月 廿七日 島津家久書狀
- 二九 (記事) 島津家久譜
- 三〇 (慶長 十年) 三月 廿七日 飛鳥井雅庸書狀
- 三一 (慶長 十年) 三月 廿八日 飛鳥井雅庸書狀
- 三二 (慶長 十年) 三月 廿七日 飛鳥井雅庸書狀
- 三三 (慶長 十年) 三月 三月 島津義久書狀案
- 三四 (慶長 十年) 四月 朔日 近衛信尹書狀
- 三五 四月 二日 慶長九年・十年公用出物控
- 三六 四月 朔日 山口直友書狀
- 三七 (慶長 十年) 四月 三日 島津惟新書狀
- 三八 (慶長 十年) 四月 島津竜伯書狀案
- 三九 (記事) 島津家久譜
- 四〇 (記事) 島津常久譜
- 四一 (記事) 島津家久書狀
- 四二 七日 島津常久譜
- 四三 (記事) 島津家久起請文案
- 四四 (慶長 十年) 四月 十七日 西洞院時直書狀
- 四五 (記事) 殉国名數

- 四六 (慶長 十年) 四月廿一日 島津忠恒書狀
- 四七 (慶長 十年) 四月廿六日 徳川家康御内書
- 四八 (記事) 島津家久譜
- 四九 (慶長 十年) 四月廿七日 伊藤某書狀
- 五〇 (慶長 十年) 四月廿八日 飛鳥井雅庸書狀
- 五一 (記事) 島津家久譜
- 五二 (慶長 十年) 四月廿八日 伊勢貞知書狀
- 五三 (慶長 十年) 五月 二日 山口直友書狀
- 五四 (慶長 十年) 五月 四日 島津惟新書狀
- 五五 (記事) 島津家久譜
- 五六 (慶長 十年) 五月 八日 徳川秀康書狀
- 五七 (記事) 島津家久譜
- 五八 古田重勝数寄座覽書
- 五九 (慶長 十年) 五月十四日 徳川秀忠御内書
- 六〇 (記事) 島津家久譜
- 六一 (慶長 十年) 五月十八日 山口直友書狀
- 六二 (記事) 島津家久譜
- 六三 (慶長 十年) 五月廿一日 島津竜伯書狀
- 六四 (慶長 十年) 六月 一日 島津義久詠草
- 六五 (慶長 十年) 六月十九日 島津竜伯書狀
- 六六 (慶長 十年) 六月十九日 島津竜伯書狀
- 六七 (慶長 十年) 六月十九日 島津竜伯書狀
- 六八 (記事) 島津常久譜
- 六九 (慶長 十年) 六月廿五日 山口直友書狀
- 七〇 (慶長 十年) 六月廿九日 小林家孝書狀
- 七一 (慶長 十年) 七月 島津義久書狀案
- 七二 (記事) 児玉実相譜
- 七三 (慶長 十年) 七月 吉日 児玉実相願文
- 七四 (慶長 十年) 七月 九日 近衛前久書狀
- 七五 (記事) 島津家久譜
- 七六 (慶長 十年) 七月十一日 鎌田政近書狀
- 七七 (慶長 十年) 七月十七日 島津忠恒書狀
- 七八 (記事) 島津常久譜
- 七九 島津忠恒書狀
- 八〇 (記事) 島津常久譜
- 八一 慶長 十年 七月十七日 樺山久高・鎌田政近連署感狀
- 八二 (記事) 島津家久譜
- 八三 (慶長 十年) 七月十九日 飛鳥井雅胤書狀
- 八四 (慶長 十年) 七月廿一日 山口直友書狀
- 八五 (慶長 十年) 七月廿一日 山口直友書狀
- 八六 (慶長 十年) 七月廿二日 島津惟新書狀
- 八七 (記事) 島津家久譜
- 八八 (慶長 十年) 七月廿八日 本多正純書狀案
- 八九 (慶長 十年) 七月廿八日 本多正純書狀案
- 九〇 (慶長 十年) 八月 一日 福島正則書狀
- 九一 (記事) 島津常久譜
- 九二 (慶長 十年) 八月 八日 本多正信書狀
- 九三 (慶長 十年) 八月 島津竜伯書狀案
- 九四 (記事) 島津家久譜
- 九五 (記事) 島津家久譜

- 九六(慶長 十年) 八月十五日 松浦鎮信書状
 九七「慶長 十年」 八月十九日 山口直友書状
 九八「慶長 十年」 八月十九日 山口直友書状
 九九(慶長 十年) 八月 島津義久書状案
 一〇〇 九月三日 徳川秀忠御内書
 一〇一(慶長 十年) 九月五日 本多正純書状
 一〇二(慶長 十年) 九月 島津義久書状案
 一〇三(慶長 十年) 九月 島津義久書状案
 一〇四(慶長 十年) 九月十三日 徳川秀忠御内書
 一〇五(慶長 十年) 九月十三日 本多正信書状
 一〇六(慶長 十年) 九月十五日 亨徳院正純書状
 一〇七 (記事) 島津家久譜
 一〇八(慶長 十年) 九月十五日 山口直友書状
 一〇九 (記事) 島津家久譜
 一一〇 九月十六日 島津忠恒書状
 一一一(慶長 十年) 九月十七日 本多正信書状
 一一二 (記事) 島津家久譜
 一一三(慶長 十年) 九月廿五日 本多正信・大久保忠隣連署状
 一一四(慶長 十年) 九月廿五日 本多正信書状
 一一五 島津義久詠草
 一一六 (記事) 島津義久譜
 一一七 (記事) 島津家久譜
 一一八(慶長 十年) 九月 晦日 米津某・板倉勝重連署状
 一一九(慶長 十年) 十月十一日 古田重然書状
 一二〇(慶長 十年) 十一月 朔日 山口直友覺書
- 一二一 (記事) 島津家久譜
 一二二(慶長 十年) 十二月二日 本多正信書状
 一二三 (記事) 島津家久譜
 一二四(慶長 十年) 十一月五日 小林家孝書状
 一二五(慶長 十年) 十一月十一日 相良頼房長書状
 一二六(慶長 十年) 十一月十一日 島津忠恒書状
 一二七(慶長 十年) 十月十九日 島津竜伯書状
 一二八(慶長 十年) 十一月 廿日 向井忠勝書状
 一二九(慶長 十年) 十一月 廿日 久永重勝書状
 一三〇(慶長 十年) 十一月 廿日 久永重勝・向井忠勝連署状
 一三一(慶長 十年) 十二月 晦日 徳川秀忠御内書
 一三二(慶長 十年) 十二月 五日 山口直友書状
 一三三(慶長 十年) 十二月 六日 寺沢広忠高書状
 一三四 慶長 十年 十二月十一日 飯野白鳥權現社棟札
 一三五 島津竜伯詠草
 一三六 島津竜伯袖判伊集院抱節治
 一三七 (記事) 島津家久譜
 一三八(慶長 十年) 十二月十六日 島津義久書状案
 一三九(慶長 十年) 十二月十八日 留守中置日条書
 一四〇 (記事) 島津家久譜
 一四一(慶長 十年) 十二月 廿日 山口直友書状
 一四二 十二月廿一日 徳川秀忠御内書
 一四三(慶長 十年) 十二月廿一日 本多正信書状

一四四 (慶長 十年) 十二月廿五日 徳川家康御内書

一四五 (記事) 島津家久譜

一四六 (慶長 十年) 十二月廿六日 本多正純書狀

一四七 (慶長 十年) 十二月廿八日 徳川家康御内書

一四八 (慶長 十年) 十二月廿八日 本田親存書狀

一四九 (慶長 十年) 十二月廿九日 本多正信書狀

一五〇 (慶長 十年) 十二月廿九日 徳川家康御内書

一五一 慶長 十年 晦日 伊勢貞昌起請文

一五二 (記事) 慶長十年国府衆中交名

一五三 (記事) 得能氏記録

卷六十

一五四 国老用人記

一五五 (慶長十一年) 正月 二日 徳川秀忠御内書

一五六 (慶長十一年) 正月 四日 徳川家康御内書

一五七 (慶長 十年) 正月 九日 島津惟新弘義書狀

一五八 島津忠恒久家書狀

一五九 (記事) 島津家久譜

一六〇 慶長十一年 正月 島津義弘復書

一六一 慶長十一年 正月 島津義弘答書

一六二 (慶長十一年) 正月廿四日 島津忠恒書狀

一六三 (慶長十一年) 正月廿七日 島津竜伯久義書狀

一六四 (記事) 島津家久譜

一六五 (慶長十一年) 二月 島津義久書狀案

一六六 二月十三日 島津義久書狀案

一六七 (慶長十一年) 二月十一日 島津惟新書狀案

一六八 (記事) 島津家久譜

一六九 (慶長十一年) 二月十五日 島津忠恒書狀

一七〇 (慶長十一年) 二月廿六日 秋月種長書狀

一七一 慶長十一年 三月 四日 詠花有喜色和歌

一七二 (慶長十一年) 三月十一日 山口直友書狀

一七三 (記事) 島津家久譜

一七四 (慶長十一年) 三月廿七日 島津家久書狀案

一七五 (記事) 島津家久譜

一七六 (慶長十一年) 三月廿七日 本多正純書狀

一七七 (記事) 島津家久譜

一七八 (慶長十一年) 三月廿八日 本多正信書狀

一七九 (記事) 島津以久譜

一八〇 慶長十一年 四月 吉日 島津竜伯書下

一八一 (慶長十一年) 四月 一日 島津惟新書狀

一八二 慶長十一年 四月 一日 瀬戸口勤之丞外二名連署起請文

一八三 (記事) 島津家久譜

一八四 (慶長十一年) 四月 二日 島津惟新書狀

一八五 (慶長十一年) 四月 四日 山口直友書狀

一八六 (記事) 島津家久譜

一八七 四月 八日 島津忠恒書狀

一八八 (慶長十一年) 四月 九日 昭高院如雪道澄書狀

一八九 (慶長十一年) 四月 九日 某書狀

一九〇 (慶長十一年) 四月十四日 島津惟新書狀

一九一 (慶長十一年) 四月十六日 島津竜伯書狀

- 一九二(慶長十一年) 四月十六日 昭高院如雪書狀
- 一九三(慶長十一年) 四月十六日 島津竜伯書狀
- 一九四(慶長十一年) 四月十六日 島津竜伯書狀
- 一九五 (記事) 島津家久譜
- 一九六(慶長十一年) 四月 廿日 山口直友書狀
- 一九七(慶長十一年) 四月 廿二日 島津惟新書狀
- 一九八 (記事) 島津家久譜
- 一九九(慶長十一年) 四月 廿三日 飛鳥井雅胤書狀
- 二〇〇(慶長十一年) 四月 廿三日 某書狀
- 二〇一(慶長十一年) 四月 廿七日 徳川秀忠御内書
- 二〇二(慶長十一年) 四月 吉日 新納拙齋元忠署判知行目錄
- 二〇三(慶長十一年) 四月 晦日 飛鳥井雅庸書狀
- 二〇四(慶長十一年) 五月 朔日 島津惟新書狀
- 二〇五(慶長十一年) 五月 二日 伊集院抱節・山田理安連 署領知目錄
- 二〇六(慶長十一年) 五月 二日 伊集院抱節・山田理安連署知 行地割目錄
- 二〇七(慶長十一年) 五月 二日 伊集院抱節・山田理安連署知 行名寄目錄
- 二〇八 (記事) 島津家久譜
- 二〇九 五月十七日 安藤直次書狀
- 二一〇(慶長十一年) 五月 廿一日 島津竜伯書狀
- 二一一(慶長十一年) 五月 廿五日 長谷川藤広書狀
- 二一二(慶長十一年) 五月 廿八日 島津竜伯書狀
- 二一三(慶長十一年) 六月 朔日 島津忠恒書狀
- 二二四(慶長十一年) 六月 五日 山口直友書狀
- 二二五(慶長十一年) 六月 五日 島津惟新書狀
- 二二六 (記事) 島津家久譜
- 二二七(慶長十一年) 六月 六日 島津忠恒書狀
- 二二八 (記事) 島津家久譜
- 二二九(慶長十一年) 六月 十一日 島津竜伯書狀
- 二三〇 (記事) 島津家久譜
- 二三一(慶長十一年) 六月 十七日 徳川家康一字書出
- 二三二(慶長十一年) 六月 十四日 島津忠恒書狀
- 二三三(慶長十一年) 六月 十七日 山口直友書狀
- 二三四 (記事) 島津家久伝記
- 二三五 六月 十八日 本多正純書狀
- 二三六(慶長十一年) 六月 十八日 島津惟新書狀
- 二三七 (記事) 島津家久譜
- 二三八(慶長十一年) 六月 十九日 理性院観助書狀
- 二二九(慶長十一年) 六月 吉日 池田某覚書
- 二三〇 (記事) 島津家久譜
- 二三一(慶長十一年) 六月 廿四日 昭高院如雪書狀
- 二三二(慶長十一年) 六月 廿四日 島津家久書狀
- 二三三(慶長十一年) 六月 廿五日 近衛竜山前久書狀
- 二三四(慶長十一年) 六月 廿八日 飛鳥井雅庸書狀
- 二三五(慶長十一年) 六月 廿八日 飛鳥井雅庸書狀
- 二三六(慶長十一年) 六月 廿九日 飛鳥井雅庸書狀
- 二三七 (記事) 島津忠長譜
- 二三八 (記事) 島津忠倍譜

二三九

島津尚久一流系図

二四〇 慶長十一年

七月 二日 伊集院抱節・山田理安連署証

狀

二四一 慶長十一年

七月 二日 伊集院抱節・山田理安連署証

狀

二四二

(記事) 島津家久譜

二四三 (慶長十一年)

七月 三日 長谷川藤広書狀

二四四 (慶長十一年)

七月 九日 飛鳥井雅庸書狀

二四五 慶長十一年

廿二日 島津家久公帖

二四六 (慶長十一年)

七月十六日 島津惟新書狀

二四七 (慶長十一年)

七月十七日 本多正信書狀

二四八

(記事) 島津家久譜

二四九 (慶長十一年)

七月十九日 飛鳥井雅庸書狀

二五〇 (慶長十一年)

七月廿一日 島津竜伯書狀

二五一 慶長十一年

七月廿三日 伊奈忠次外二名連署掟書

二五二

(記事) 島津家久譜

二五三 (慶長十一年)

八月 四日 土井利勝書狀

二五四 慶長十一年

八月十一日 樺山忠真外四七名連署起請文

二五五

(記事) 新納忠元勲功記

二五六

(記事) 島津家久譜

二五七 (慶長十一年)

九月 三日 山口直友書狀

二五八 (慶長十一年)

九月 六日 本多正純書狀

二五九 (慶長十一年)

九月 九日 徳川家康御内書

二六〇 (慶長十一年)

九月 九日 島津惟新書狀

二六一 (慶長十一年)

九月十七日 徳川秀忠御内書

二六二 (慶長十一年)

九月 廿日 本多正信書狀

二六三 (慶長十一年)

九月廿九日 島津家久書狀

二六四 (慶長十一年)

十月 七日 山口直友書狀

二六五

(記事) 島津家久譜

二六六 (慶長十一年)

十月 十日 山口直友書狀

二六七 (慶長十一年)

十月十六日 島津義久書狀案

二六八 (慶長十一年)

十一月 六日 桑山幸晴書狀

二六九 慶長十一年

十一月 七日 新納拙齋切符

二七〇

(記事) 島津家久譜

二七一 (慶長十一年)

十二月十日 山口直友書狀

二七二 (慶長十一年)

十二月十一日 難波宗勝書狀

二七三

(記事) 島津家久譜

二七四

十二月十五日 島津家久書狀

二七五

(記事) 島津家久譜

二七六 (慶長十一年)

十一月十九日 島津家久書狀

二七七 慶長十一年

十一月廿三日 檢地帳請取狀

二七八

(記事) 島津家久譜

二七九 慶長十一年

十一月廿五日 犬追物手組

二八〇 慶長十一年

十一月廿五日 犬追物手組

二八一 慶長十一年

十一月廿五日 犬追物手組

二八二 慶長十一年

十一月廿五日 犬追物手組

二八三 慶長十一年

十一月廿六日 犬追物手組

二八四 慶長十一年

十一月廿六日 犬追物手組

二八五 慶長十一年

十一月廿六日 犬追物手組

二八六 慶長十一年

十一月廿六日 犬追物手組

- 二八七 慶長十一年 十一月廿六日 犬追物手組
二八八 慶長十一年 十一月廿六日 犬追物手組
二八九 慶長十一年 十一月廿六日 犬追物手組
二九〇 慶長十一年 十一月廿六日 犬追物手組
二九一 慶長十一年 十一月廿七日 犬追物手組
二九二 慶長十一年 十一月廿七日 犬追物手組
二九三 慶長十一年 十一月廿七日 犬追物手組
二九四 慶長十一年 十一月廿七日 犬追物手組
二九五 慶長十一年 十一月廿七日 犬追物手組
二九六 慶長十一年 十一月廿七日 犬追物手組
二九七 慶長十一年 十一月廿七日 犬追物手組
二九八 慶長十一年 十一月廿七日 犬追物手組
二九九 慶長十一年 十一月廿七日 犬奉行交名注文
三〇〇 慶長十一年 十一月^{廿五日} 伊地知權左衛門家藏文書
三〇一 (慶長十一年) 十一月廿八日 犬追物覺書
三〇二 (記事) 島津家久譜
三〇三 慶長十一年 十一月 晦日 島津家久書下
三〇四 (記事) 北郷忠能譜
三〇五 (記事) 島津歲久譜
三〇六 島津龜伯外三名詠草
三〇七 (記事) 島津家久譜
三〇八 (慶長十一年) 十二月 六日 土井利勝・本多正純連署狀
三〇九 (慶長十一年) 十二月十五日 福島正則書狀
三一〇 慶長十一年 十二月廿二日 新納忠元知行坪付
三一一 慶長十一年 十二月 廿二日 島津家久公帖案
- 三二二 慶長十一年 十二月廿四日 島津家久判物
三二三 慶長十一年 十二月廿六日 島津龜伯願文
三二四 (記事) 得能氏記錄
卷六十一
三二五 慶長十二年 正月 三日 關東供衆盛
三二六 某覺書
三二七 (慶長十二年) 正月十一日 島津家久書狀
三二八 (記事) 新納忠元譜
三二九 (慶長十二年) 正月十五日 新納拙齋^{忠元}書狀
三三〇 (記事) 島津家久譜
三三一 (慶長十二年) 二月十三日 某書狀
三三二 慶長十二年 二月十五日 島津義久追悼和歌
三三三 (慶長十二年) 二月廿一日 徳川秀康書狀
三三四 (慶長十二年) 二月廿六日 島津龜伯書狀
三三五 (慶長十二年) 三月 二日 山口直友書狀
三三六 (慶長十二年) 三月十二日 豊臣秀頼書狀
三三七 (記事) 島津家久譜
三三八 (慶長十二年) 三月十六日 片桐貞隆書狀
三三九 (慶長十二年) 三月十七日 片桐貞隆書狀
三三〇 (慶長十二年) 三月廿六日 島津龜伯書狀
三三一 (記事) 新納忠元勲功記
三三二 (記事) 島津家久譜
三三三 (慶長十二年) 三月廿七日 島津家久書狀案
三三四 慶長十二年 四月 朔日 新納為舟^{元忠}加增坪付
三三五 慶長十二年 四月 朔日 新納為舟加增坪付

- 三三六 慶長十二年 四月十四日 新納為舟坪付
- 三三七 慶長十二年 四月十四日 新納為舟坪付
- 三三八 (慶長十二年) 四月十八日 本多正純書狀
- 三三九 (慶長十二年) 四月十八日 徳川家康御内書
- 三四〇 (慶長十二年) 四月 廿日 徳川秀忠御内書
- 三四一 慶長十二年 四月廿四日 市来某・本田某連署達書
- 三四二 慶長十二年 四月廿四日 市来某・本田某連署達書
- 三四三 慶長十二年 四月廿四日 某覚書
- 三四四 慶長十二年 四月廿六日 園分友次起請文
- 三四五 (慶長十二年) 閏四月十七日 大久保忠隣書狀
- 三四六 (記事) 島津家久譜
- 三四七 (慶長十二年) 閏四月廿二日 本多正純書狀
- 三四八 慶長十二年 閏四月廿四日 島津惟新願文
- 三四九 慶長十二年 閏四月廿四日 島津惟新願文
- 三五〇 慶長十二年 閏四月廿八日 川上忠兄・伊勢貞成連署知行目録
- 三五一 閏四月廿九日 新納為舟書狀
- 三五二 (慶長十二年) 五月 一日 本多正純書狀
- 三五三 (慶長十二年) 五月 朔日 徳川秀忠御内書
- 三五四 (慶長十二年) 五月十三日 島津惟新書狀
- 三五五 慶長十二年 五月十七日 山田理安外二名連署寺領目録
- 三五六 (慶長十二年) 五月廿三日 徳川家康御内書
- 三五七 五月廿五日 大久保忠隣書狀
- 三五八 (慶長十二年) 五月廿七日 福島正則書狀
- 三五九 (記事) 島津家久譜
- 三六〇 (慶長十二年) 五月廿八日 島津家久書狀
- 三六一 慶長十二年 六月十八日 懷旧連歌
- 三六二 慶長十二年 六月十八日 懷旧連歌
- 三六三 (記事) 島津家久譜
- 三六四 (慶長十二年) 六月廿七日 島津惟新書狀
- 三六五 慶長十二年 六月 吉日 喜入久供外八名連署起請文
- 三六六 慶長十二年 六月吉祥日 白濱重昌起請文
- 三六七 六月廿四日 島津義久書狀案
- 三六八 (記事) 島津家久譜
- 三六九 (慶長十二年) 六月 晦日 大久保忠隣書狀
- 三七〇 (慶長十二年) 七月 二日 島津義久書狀案
- 三七一 (慶長十二年) 七月 四日 島津竜伯書狀
- 三七二 (記事) 島津家久譜
- 三七三 (慶長十二年) 七月 七日 本多正純書狀
- 三七四 (慶長十二年) 七月十一日 本多正純書狀
- 三七五 天海書狀
- 三七六 菅板受取狀
- 三七七 大麟置文
- 三七八 (慶長十二年) 七月十七日 近衛竜山前書狀
- 三七九 (慶長十二年) 七月廿三日 本多正純書狀
- 三八〇 (慶長十二年) 七月廿七日 飛鳥井雅庸書狀
- 三八一 (慶長十二年) 七月廿九日 島津竜伯書狀
- 三八二 (慶長十二年) 八月 一日 島津惟新書狀
- 三八三 (記事) 児玉筑後譜
- 三八四一 慶長十二年 八月 五日 島津惟新寄進狀

三五四 (慶長十二年) 八月 五日 島津惟新寄進狀
 三八五 (慶長十二年) 八月 八日 島津惟新書狀
 三八六 (慶長十二年) 八月 八日 島津紹益外二名連署宛行狀
 三八七 八月十九日 島津家久書狀
 三八八 (記事) 島津家久譜
 三八九 (慶長十二年) 八月廿五日 松平定行書狀
 三九〇 (慶長十二年) 八月廿七日 犬追物手組
 三九一 (慶長十二年) 九月 二日 本多正信書狀
 三九二 (慶長十二年) 九月 七日 徳川秀忠御内書
 三九三 (慶長十二年) 九月 九日 徳川家康御内書
 三九四 (記事) 島津家久譜
 三九五 (慶長十二年) 九月十八日 土井利勝書狀
 三九六 (慶長十二年) 九月廿二日 島津竜伯書狀
 三九七 (慶長十二年) 九月廿五日 本多正信書狀
 三九八 (記事) 島津家久譜
 三九九 (慶長十二年) 十月 十日 水野某書狀
 四〇〇 (記事) 島津家久譜
 四〇一 (慶長十二年) 十月十一日 島津家久外十六名連歌
 四〇二 (慶長十二年) 十月廿三日 島津竜伯書狀
 四〇三 (慶長十二年) 十月廿四日 島津竜伯書狀
 四〇四 (慶長十二年) 十一月 四日 近衛信尹書狀
 四〇五 (記事) 殉国名藪
 四〇六 (記事) 島津家久譜
 四〇七 (慶長十二年) 十一月十一日 寺沢広忠起請文
 四〇八 (慶長十二年) 十一月十一日 寺沢広忠書狀

四〇九 (慶長十二年) 十一月 廿日 山口直友書狀
 四一〇 (記事) 北郷忠能譜
 四一一 (慶長十二年) 十二月 三日 白円起請文
 四一二 (慶長十二年) 十二月 五日 山口直友書狀
 四一三 (慶長十二年) 十二月廿二日 山口直友書狀
 四一四 (慶長十二年) 十二月廿二日 本田元親指出
 四一五 (慶長十二年) 十二月廿六日 新納為舟書狀
 四一六 (慶長十二年) 十二月廿七日 徳川秀忠御内書
 四一七 (記事) 榑山久高譜
 四一八 (記事) 得能氏記録
 卷六十二
 四一九 (記事) 加治木御日記
 四二〇 (慶長十三年) 正月 四日 本多正信書狀
 四二一 (記事) 喜入忠統譜
 四二二 (慶長十三年) 二月 朔日 島津家久追悼詩
 四二三 島津家久外十一名追悼和歌
 四二四 (慶長十三年) 二月 二日 山口直友書狀
 四二五 (慶長十三年) 二月 三日 島津紹益・比志島国貞連署書下
 四二六 十二月 二日 渋谷重將書狀
 四二七 (慶長十三年) 三月十五日 島津忠恒書狀
 四二八 (慶長十三年) 二月廿三日 島津家久書下
 四二九 (記事) 島津家久譜
 四三〇 (記事) 島津以久譜
 四三一 (慶長十三年) 二月廿七日 清水光直正書狀

四三二 (慶長十三年) 二月廿七日 山口直友書狀
 四三三 (記事) 島津家久譜
 四三四 (慶長十三年) 二月廿七日 山口直友書狀
 四三五 (慶長十三年) 三月 六日 祐乘坊法印瑞久書狀
 四三六 (記事) 島津家久譜
 四三七 (慶長十三年) 三月十一日 山口直友書狀
 四三八 (慶長十三年) 三月十一日 山口直友書狀
 四三九 (記事) 島津家久譜
 四四〇 (記事) 島津家久譜
 四四一 (慶長十三年) 四月 朔日 近衛信尹書狀
 四四二 (慶長十三年) 四月 朔日 近衛信尹書狀
 四四三 (慶長十三年) 四月 吉日 島津義久詠草
 四四四 (慶長十三年) 四月 五日 新納為舟署判坪付
 四四五 (慶長十三年) 四月 八日 島津惟新書狀
 四四六 (記事) 島津家久公刃記事
 四四七 (慶長十三年) 四月 九日 島津家久寄進狀
 四四八 (記事) 島津家久譜
 四四九 (記事) 島津家久譜
 四五〇 (慶長十三年) 四月 九日 島津家久寄進狀
 四五一 (記事) 島津家久譜
 四五二 (慶長十三年) 四月十二日 理性院觀助書狀
 四五三 (記事) 島津家久譜
 四五四 (慶長十三年) 四月十五日 本多正純書狀
 四五五 (記事) 島津家久譜
 四五六 (記事) 新納忠元勲功記

四五七 (慶長十七年^(十三)) 四月廿二日 片桐且元書狀
 四五八 (慶長十三年) 四月廿二日 片桐貞隆書狀
 四五九 (慶長十三年) 四月廿八日 徳川家康御内書
 四六〇 (慶長十三年) 五月 二日 本多正信書狀
 四六一 (慶長十三年) 五月 二日 本多正信書狀
 四六二 (慶長十三年) 五月 三日 小林家孝書狀
 四六三 (慶長十三年) 五月 八日 本多正純書狀
 四六四 (慶長十三年) 五月十二日 徳川秀忠御内書
 四六五 (慶長十三年) 五月十六日 本多正純書狀
 四六六 (慶長十三年) 五月十七日 山口直友書狀
 四六七 (慶長十三年) 五月十七日 山口直友書狀
 四六八 (慶長十三年) 五月廿一日 片桐且元書狀
 四六九 (慶長十三年) 五月廿五日 土井利勝書狀
 四七〇 (慶長十三年) 五月廿六日 本多正信書狀
 四七一 (記事) 島津奄伯書狀
 四七二 (記事) 島津家久譜
 四七三 (慶長十三年) 五月廿七日 本多正純書狀
 四七四 (慶長十三年) 六月 四日 小林家孝書狀
 四七五 (慶長十三年) 六月十一日 島津家久書狀
 四七六 (慶長十三年) 六月廿四日 島津義久書狀案
 四七七 (慶長十三年) 六月廿四日 島津義久書狀
 四七八 (慶長十三年) 七月 十日 山口直友書狀
 四七九 (記事) 島津家久譜
 四八〇 (慶長十三年) 七月十九日 山口直友書狀
 四八一 (記事) 島津家久譜

四八二 慶長十三年 七月廿一日 蓮金院全秀外二名連署売券
 四八三 慶長十三年 七月廿一日 大村某起請文
 四八四 (慶長十三年) 七月廿一日 徳川家康御内書
 四八五 (記事) 島津常久譜
 四八六 慶長十三年 八月 八月 八日 新納為舟署判坪付
 四八七 (慶長十三年) 八月 八月 十日 徳川家康御内書
 四八八 (慶長十三年) 八月 八月 十日 徳川家康御内書
 四八九 (慶長十三年) 八月 八月 十日 島津家久書状
 四九〇 (記事) 島津家久譜
 四九一 (慶長十三年) 八月十九日 山口直友書状
 四九二 (記事) 得能氏記録

卷六十二

四九三 (慶長十三年) 九月 九月 五日 山口直友書状
 四九四 慶長十三年 九月 九月 六日 琉球渡海軍衆挨拶
 四九五 (慶長十三年) 九月 九月 七日 本多正純書状
 四九六 琉球渡衆交名
 四九七 (記事) 島津家久譜
 四九八 九月 九月 十日 島津家久書状案
 四九九 (慶長十三年) 九月 九月 十日 徳川秀忠御内書
 五〇〇 (記事) 島津家久譜
 五〇一 (慶長十三年) 九月 九月 十一日 伊勢貞知書状
 五〇二 (慶長十三年) 九月 九月 十五日 本多正信書状
 五〇三 九月 九月 廿四日 島津家久書状
 五〇四 慶長十三年 十月 十月 四日 島津惟新義・同家久連署氏寺草創記文案

五〇五 慶長十三年 十月 十月 四日 島津惟新・同家久連署氏寺草創記文案
 五〇六 慶長十三年 十月 十月 四日 島津惟新・同家久連署氏寺草創記文案
 五〇七 慶長十三年 十月 十月 四日 島津惟新・同家久連署氏寺草創記文案
 五〇八 島津惟新・同家久連署氏寺草創記文案
 五〇九 (慶長十三年) 十月 十月 十一日 細川幽斎孝書状
 五一〇 慶長十三年 十月 十月 廿八日 島津紹益・比志島國貞連署知行目錄
 五一一 慶長十三年 十一月 十一月 朔日 井尻某指出
 五一二 (慶長十三年) 十一月 十一月 九日 島津義久書状案
 五一三 慶長十三年 十一月 十一月 十日 葛西某外三名連署銀子入目注文
 五一四 慶長十三年 十一月 十一月 十日 成正院頼真外二名連署蓮金院作事注文
 五一五 (慶長十三年) 十一月 十一月 十日 青蔵寺法印政遍書状
 五一六 (記事) 國老人記
 五一七 慶長十三年 十一月 十一月 十七日 犬迫物手組
 五一八 (慶長十三年) 十一月 十一月 廿三日 片桐且元書状
 五一九 (慶長十三年) 十二月 十二月 廿四日 徳川秀忠御内書
 五二〇 (慶長十三年) 十二月 十二月 廿四日 島津家久書状
 五二一 (慶長十三年) 十一月 十一月 廿六日 飛鳥井雅庸書状
 五二二 (記事) 北郷久加譜

- 五二三 慶長十三年 十二月廿四日 喜入久正外二名連署知行目録
- 五二四 (記事) 児玉筑後譜
- 五二五 (慶長十三年) 十二月廿六日 徳川秀忠御内書
- 五二六 十二月廿八日 徳川家康御内書
- 五二七 (慶長十三年) 十二月廿九日 本多正信書状
- 五二八 (慶長十三年) 十二月廿九日 徳川家康御内書
- 五二九 (記事) 島津家久譜
- 五三〇 (慶長十三年) 十二月 晦日 山口直友書状
- 五三一 (慶長十四年) 正月 五日 文殊院某書状
- 五三二 慶長十四年 二月 島津竜伯書状
- 五三三 (記事) 児玉筑後譜
- 五三四 元祿十四年 八月廿三日 児玉利言事書
- 五三五 琉球渡衆交名
- 五三六 (慶長十四年) 二月十六日 本多正信書状
- 五三七 (慶長十四年) 二月 廿日 山口直友書状
- 五三八 慶長十四年 二月廿一日 島津義弘書状案
- 五三九 慶長十四年 二月廿五日 島津惟新書状
- 五四〇 (記事) 島津家久譜
- 五四一 (記事) 北郷忠能譜
- 五四二 (記事) 樺山久高譜
- 五四三 (記事) 新納忠元勲功記
- 五四四 慶長十四年 二月廿六日 島津竜伯外二名連署琉球渡海軍衆掟書
- 五四五 慶長十四年 三月 島津家久判物
- 五四六 (慶長十四年) 三月 四日 島津家久書状
- 五四七 慶長十四年 島津竜伯詠草
- 五四八 (慶長十四年) 三月 四日 島津家久書状
- 五四九 六月十二日 伊東某出軍人数注文抄
- 五五〇 慶長十四年 三月 五日 伊東某軍忠抄
- 五五一 慶長十四年 三月十五日 喜入久正外二名連署寄進状
- 五五二 慶長十四年 三月十五日 島津家久寄進状
- 五五三 (記事) 樺山久高譜
- 五五四 (慶長十四年) 三月 廿日 島津家久書状
- 五五五 慶長十四年 三月廿一日 新納為舟知行目録
- 五五六 (慶長十四年) 三月廿二日 島津家久書状
- 五五七 (記事) 琉球渡海日々記
- 五五八 慶長十四年 三月廿八日 市来家元外四名連署願文
- 五五九 (慶長十四年) 四月 朔日 山口直友書状
- 五六〇 (慶長十四年) 四月 朔日 山口直友書状
- 五六一 (記事) 殉国名藪
- 五六二 (慶長十四年) 四月 五日 樺山久高書状
- 五六三 (慶長十四年) 四月十六日 近衛信尹書状
- 五六四 (慶長十四年) 四月十七日 本多正純書状
- 五六五 (慶長十四年) 四月廿一日 徳川秀忠御内書
- 五六六 (慶長十四年) 四月廿二日 山口直友書状
- 五六七 (慶長十四年) 四月廿二日 山口直友書状
- 五六八 (慶長十四年) 五月 二日 島津惟新書状
- 五六九 (慶長十四年) 五月 三日 島津竜伯書状
- 五七〇 五月 三日 島津竜伯書状
- 五七一 (慶長十四年) 五月 五日 樺山久高書状

五七二 (慶長十四年)	五月 八日	片桐且元書狀	五九四 (慶長十四年)	七月 七日	徳川家康御内書
五七三 (慶長十四年)	五月 九日	徳川秀忠御内書	五九五	七月 五日	徳川秀忠御内書
五七四	(記事)	島津久元譜	五九六 (慶長十四年)	七月 七日	立花俊正 <small>茂</small> 書狀
五七五 慶長十四年	五月 十日	島津紹益外二名連署知行目録	五九七 慶長十四年	七月 九日	宝性院法印政遍書狀
五七六	(記事)	島津忠倍譜	五九八 (慶長十四年)	七月 九日	青巖寺法印政遍書狀
五七七 (慶長十四年)	五月廿一日	細川幽齋書狀	五九九	十二月 〇〇	青巖寺法印政遍書狀
五七八	(記事)	島津義久譜	六〇〇 (慶長十四年)	七月 九日	本多正信書狀
五七九 (慶長十四年)	五月廿一日	島津竜伯書狀	六〇一 慶長十四年	七月 九日	宝性院法印政遍書狀
五八〇 (慶長十四年)	五月廿六日	某書狀	六〇二 (慶長十四年)	七月 十一日	大築院玄如書狀
五八一 (慶長十六年)	六月 六日	山口直友書狀	六〇三 (慶長十四年)	七月 十三日	本多正純書狀
五八二 (慶長十四年)	六月 十一日	寺沢広忠書狀	六〇四 (慶長十四年)	七月 十三日	本多正純書狀
五八三 (慶長十四年)	六月 十六日	新納遊浦書狀	六〇五 (慶長十四年)	七月 十四日	山口直友書狀
五八四 (慶長十四年)	六月 廿六日	本多正純書狀	六〇六 (慶長十四年)	七月 十五日	善集院榮旻書狀
五八五 慶長十四年	六月 廿九日	島津竜伯追悼和歌	六〇七 慶長 四年	七月 十五日	善集院榮旻書下
五八六	(記事)	旧記	六〇八 慶長十四年	七月 十五日	堀重継・成正院頼真連署運金
五八七	四月廿四日	新納為舟書狀	六〇九 慶長十四年	七月 十五日	院道具注文
卷六十四			六一〇	七月 十五日	銀子入目注文
五八八	(記事)	大田忠角譜	六一一 慶長十四年	七月 十五日	成正院頼真書狀
五八九 慶長十四年	七月 朔日	本田親存・比志島國詮連署覽書	六一二 慶長十四年	七月 十五日	成正院頼真・堀重継連署銀子入目注文
五九〇 (慶長十四年)	七月 三日	福島正則書狀	六一三 (慶長十四年)	七月 十六日	宝亀院朝印書狀
五九一 (慶長十四年)	七月 五日	徳川秀忠御内書	六一四 (慶長十四年)	七月 廿五日	島津惟新・同家久連署狀
五九二 (慶長十四年)	七月 五日	徳川秀忠御内書	六一五 (慶長十四年)	七月 廿六日	本多正信書狀
五九三 (慶長十四年)	七月 五日	徳川秀忠御内書			

- 六一六 (慶長十四年) 七月廿七日 山口直友書狀
- 六一七 (慶長十四年) 七月廿九日 徳川秀忠御内書
- 六一八 (慶長十四年) 七月廿九日 福島正則書狀
- 六一九 (記事) 島津家久譜
- 六二〇 七月 晦日 島津家久書狀案
- 六二一 (記事) 島津家久譜
- 六二二 島津竜伯外二名詠草
- 六二三 (記事) 北郷久加譜
- 六二四 (記事) 島津家久譜
- 六二五 慶長十四年 八月 二日 島津紹益外二名連署知行目録
- 六二六 (慶長十四年) 八月十三日 竹中重利書狀
- 六二七 (慶長十四年) 九月 四日 徳川秀忠御内書
- 六二八 九月 八日 本多正純書狀
- 六二九 (慶長十四年) 九月十五日 島津惟新書狀
- 六三〇 十月 二日 本多正純書狀
- 六三一 (慶長十四年) 十月 十日 山口直友書狀
- 六三二 十月 廿八日 松浦宗静書狀
- 六三三 (記事) 新納忠元勲功記
- 六三四 慶長十四年 十月 八日 伊勢貞昌掟書
- 六三五 (記録) 伊勢貞昌自記
- 六三六 (慶長十四年) 十一月 七日 飛鳥井雅庸書狀
- 六三七 (記事) 島津家久譜
- 六三八 (慶長十四年) 十二月 二日 本多正純書狀
- 六三九 (記事) 島津忠清譜
- 六四〇 (記事) 新納忠元譜
- 六四一 慶長十四年 十二月 七日 島津竜伯感狀
- 六四二 (記事) 新納忠元勲功記
- 六四三 新納某覚書
- 六四四 慶長十四年 十二月 七日 島津竜伯感狀
- 六四五 (慶長十四年) 十二月十三日 山口直友書狀
- 六四六 (記事) 島津家久譜
- 六四七 (慶長十四年) 十二月 徳川秀忠御内書
- 六四八 (慶長十四年) 十二月十五日 徳川秀忠御内書
- 六四九 (慶長十四年) 十二月 廿日 本多正信書狀
- 六五〇 (慶長十四年) 十二月廿四日 徳川秀忠御内書
- 六五一 (慶長十四年) 十二月廿四日 清水光直正書狀
- 六五二 (慶長十四年) 十二月廿四日 清水光直親書狀
- 六五三 (慶長十四年) 十二月廿五日 福島正則書狀
- 六五四 (慶長十六年) 十二月廿六日 徳川秀忠御内書
- 六五五 (慶長十四年) 十二月廿六日 徳川家康御内書
- 六五六 (慶長十四年) 十二月廿六日 徳川家康御内書
- 六五七 (慶長十四年) 十二月廿六日 本多正純書狀
- 六五八 (慶長十四年) 十二月廿六日 本多正信書狀
- 六五九 (記事) 琉球入記
- 六六〇 (記事) 得能氏記録
- 卷六十五
- 六六一 (記事) 佐多忠充譜
- 六六二 (記事) 島津忠興譜
- 六六三 (慶長十五年) 正月 五日 島津家久書狀

- 六六四 (慶長十五年) 正月十六日 島津義久書狀案
 六六五 (慶長十五年) 正月 島津義久書狀案
 六六六 (慶長十五年) 正月十六日 島津義久書狀案
 六六七 (記事) 島津家久譜
 六六八 (慶長十五年) 正月十九日 山口直友書狀
 六六九 (記事) 殉国名數
 六七〇 (記事) 島津家久譜
 六七一 二月 二日 山口直友書狀
 六七二 (慶長十五年) 二月 十日 本多正純書狀
 六七三 (慶長十五年) 二月十四日 細川忠興書狀
 六七四 (記事) 新納忠元勲功記
 六七五 (慶長十五年) 二月廿一日 徳川秀忠御内書
 六七六 閏二月 十日 本多正純書狀
 六七七 (慶長十五年) 閏二月 〇日 山口直友書狀
 六七八 (慶長十五年) 閏二月廿一日 新納為舟知行目録
 六七九 (慶長十五年) 三月 吉日 新納忠元知行目録
 六八〇 (慶長十五年) 四月 一日 新納忠元知行目録
 六八一 (慶長十五年) 四月 二日 某掟書
 六八二 (慶長十五年) 四月 七日 島津惟新書狀
 六八三 (記事) 島津以久譜
 六八四 (記事) 島津以久譜
 六八五 島津忠興一流系図
 六八六 (記事) 島津忠興譜
 六八七 (慶長十五年) 四月十二日 本多正純書狀
 六八八 (慶長十五年) 四月廿六日 新納忠元知行目録
- 六八九 十一月十七日 詠社頭祝言和歌
 六九〇 (慶長十五年) 五月 二日 詠鶴有邊齡和歌
 六九一 (記事) 島津家久譜
 六九二 (慶長十五年) 五月十四日 本多正純書狀
 六九三 (記事) 北郷久加譜
 六九四 (慶長十五年) 五月十四日 本多正純書狀
 六九五 (慶長十五年) 六月 朔日 山口直友書狀
 六九六 (記事) 島津家久譜
 六九七 六月十四日 島津家久書狀
 六九八 (慶長十五年) 六月廿五日 藤堂高虎書狀
 六九九 (慶長十五年) 六月廿五日 島津家久書狀
 七〇〇 (記事) 盛香集
 七〇一 (記事) 島津久元譜
 七〇二 (慶長十四年) 七月 三日 福島正則書狀
 七〇三 (慶長十五年) 七月 五日 島津家久書狀
 七〇四 (慶長十五年) 七月 五日 島津家久書狀
 七〇五 (記事) 島津家久譜
 七〇六 (慶長十五年) 七月 七日 島津家久書狀
 七〇七 (記事) 島津家久譜
 七〇八 徳川秀忠御内書
 七〇九 本多正信書狀
 七一〇 (慶長十五年) 七月 十日 滝聞某・渡辺某連署銀子請取
 七一一 (慶長十五年) 七月十二日 島津家久書狀
 七一二 (慶長十五年) 七月十二日 島津惟新書狀

七三三	(慶長十五年)	七月十三日	島津家久書狀	七三七	(慶長十五年)	九月三日	本多正純書狀
七三四	(慶長十五年)	七月十六日	本多正純書狀	七三八	(慶長十五年)	九月十一日	土井利勝書狀
七二五	(慶長十五年)	七月十九日	山口直友書狀	七三九	(慶長十五年)	九月十一日	島津家久書狀
七二六	(慶長十五年)	七月廿日	島津家久書狀	七四〇	(慶長十五年)	九月十一日	泉哲外二名連署起請文前書
七二七	(慶長十五年)	七月廿四日	寺沢広高書狀	七四一	(慶長十五年)	九月十二日	最上家親書狀
七二八	(慶長十五年)	(記事)	島津家久譜	七四二	(慶長十五年)	九月廿三日	島津家久書狀
七二九	(慶長十五年)	八月八日	島津竜伯書狀	七四三	(慶長十五年)	(記事)	島津家久譜
七三〇	(慶長十五年)	三月十日	金武外二名連署狀	七四四	(慶長十五年)	九月	島津家久起請文前書
七三一	(慶長十五年)	八月十二日	島津家久書狀案	七四五	(慶長十五年)	九月廿五日	本多正純起請文
七三二	(慶長十五年)	八月十二日	島津家久書狀案	七四六	(慶長十五年)	九月廿五日	某起請文前書案
七三三	(慶長十五年)	八月十二日	島津家久書狀案	七四七	(慶長十五年)	九月廿五日	内田直定起請文
七三四	(慶長十五年)	八月十六日	寺沢広高書狀	七四八	(慶長十五年)	九月廿五日	諏訪頼滿書狀
七二五	(慶長十五年)	八月十六日	山口直友書狀	七四九	(慶長十五年)	九月廿七日	某寛書
七二六	(慶長十五年)	八月十七日	島津惟新書狀	七五〇	(慶長十五年)	(記事)	島津家久譜
七二七	(慶長十五年)	八月廿四日	伊集院某書狀	七五一	(慶長十五年)	九月廿九日	本多正純書狀
七二八	(慶長十五年)	八月廿五日	本多正信書狀	七五二	(慶長十五年)	九月廿九日	本多正純書狀
七二九	(慶長十五年)	八月廿五日	島津惟新書狀	七五三	(慶長十五年)	十月二日	比志島國貞書狀
七三〇	(慶長十五年)	雜抄	雜抄	七五四	(慶長十五年)	(記事)	狗留孫山端山寺由緒
七三一	(慶長十五年)	八月廿五日	島津惟新書狀	七五五	(慶長十五年)	十月八日	井伊直継直書狀
七三二	(慶長十五年)	(記事)	島津家久譜	七五六	(慶長十五年)	十月十日	島津家久書狀
七三三	(慶長十五年)	八月廿六日	本多正純書狀	七五七	(慶長十五年)	十月十七日	花山院定熙書狀
七三四	(慶長十五年)	八月廿八日	島津家久書狀	七五八	(慶長十五年)	(記事)	島津久信譜
七三五	(慶長十五年)	九月朔日	喜入久正・本田正親連署寄進	七五九	(慶長十五年)	十月十三日	山口直友書狀
七三六	(慶長十五年)	狀	狀	七六〇	(慶長十五年)	十月十五日	近衛信尹書狀
				七六一	(慶長十五年)	十月十七日	大炊御門経頼書狀

七六二 (慶長十五年) 十月十九日 飛鳥井雅庸伝授状
七六三 (慶長十五年) 十月廿三日 島津惟新書状

七六四 十月廿五日 島津家久書状

七六五 慶長十五年 十月廿五日 島津竜伯詠草

七六六 慶長十五年 十月廿二日 島津竜伯外六名詠草

七六七 (慶長十五年) 十一月 三日 山口直友書状

七六八 (慶長十五年) 十一月 七日 祥寿院瑞久書状

七六九 (記事) 島津忠長譜

七七〇 (記事) 島津家久譜

七七二 (慶長十五年) 十一月廿三日 本多正純書状

七七三 慶長十五年 十一月廿六日 島津竜伯追悼和歌

七七四 (記事) 新納忠元勲功記

七七五 (慶長十五年) 十二月十一日 正源院某書状

七七六 (記事) 島津家久譜

七七七 (慶長十五年) 十二月十二日 島津家久書状

七七八 (慶長十五年) 十二月十五日 徳川秀忠御内書

七七九 (記事) 得能氏記録

卷六十六

七八〇 慶長十六年 一日 島津竜伯詠草

七八一 慶長十六年 正月 吉日 島津義弘詠草

七八二 (慶長十六年) 正月 三日 徳川秀忠御内書

七八三 (慶長十六年) 正月 五日 本多正信書状

七八四 (慶長十六年) 正月 十日 酒井忠世外五名連署状

七八五 (記事) 島津義久譜

七八六 (記事) 殉国名載

七八七 島津惟新・喜入久正追悼歌

七八八 島津惟新追悼和歌

七八九 (慶長十六年) 正月十一日 中山王^尚書状

七九〇 慶長十六年 正月十七日 蒲池某・本田親正連署達書

七九一 (記録) 加治木御日記

七九二 (慶長十六年) 二月 六日 徳川秀忠御内書

七九三 (記事) 島津家久譜

七九四 (慶長十六年) 二月 六日 板倉勝重書状

七九五 慶長十六年 二月十一日 樺山久高・比志島園貞連署捉書

七九六 (慶長十六年) 二月十三日 徳川秀忠御内書

七九七 (某)為俊追悼和歌

七九八 二月十六日 浜田經重置文

七九九 九月 十日 島津竜伯外六名詠草

八〇〇 慶長十六年 二月 廿日 殉死者交名

八〇一 (記事) 島津家久譜

八〇二 (慶長十六年) 二月廿一日 本多正純書状

八〇三 (記事) 島津家久譜

八〇四 (慶長十六年) 二月廿一日 本多正純書状

八〇五 (慶長十六年) 三月 六日 島津家久書状

八〇六 (慶長十六年) 三月 八日 山口直友書状

八〇七 (慶長十六年) 三月十四日 喜入忠政外二名連署状

八〇八 慶長十六年 三月十五日 樺山久高・比志島園貞連署状

八〇九 三月十七日 徳川秀忠御内書

八一〇〔慶長十六年〕 三月廿二日 市來家繁書狀

八一 雜抄

八二 (記事) 島津家久譜

八三 (慶長十六年) 三月廿六日 竹中重義書狀

八四 慶長十六年 三月廿七日 島津忠仍信久起請文

八五 (慶長十六年) 三月 卅日 赤井忠泰書狀

八六 (慶長十六年) 四月 朔日 島津惟新書狀

八七 (慶長十六年) 四月十二日 本多正純書狀

八八 (慶長十六年) 四月十五日 寺沢広忠書狀

八九 島津家久譜 (記事)

八〇 (慶長十六年) 四月廿二日 青山成重書狀

八一 (慶長十六年) 四月廿二日 近衛信尹書狀

八二 島津家久譜 (記事)

八三 (慶長十六年) 四月廿二日 小林家孝書狀

八四 (慶長十六年) 四月廿二日 近衛信尹書狀

八五 (慶長十六年) 四月廿六日 飛鳥井雅庸書狀

八六 (慶長十六年) 五月 二日 山口直友書狀

八七 (慶長十六年) 五月 四日 豊臣秀頼書狀

八八 宗善書狀

八九 (慶長十六年) 五月 十日 島津家久書狀

九〇 島津家久譜 (記事)

八一 (慶長十六年) 五月十六日 板倉勝重書狀

八三二 慶長十六年 五月 十日 伊集院元某久知行目錄

八三三 (慶長十六年) 五月廿四日 徳川秀忠御内書

八三四 (慶長十六年) 五月廿五日 徳川秀忠御内書

八三五 (慶長十六年) 五月廿六日 山口直友書狀

八三六 (慶長十六年) 六月 二日 山口直友書狀

八三七 (記事) 島津家久譜

八三八 (慶長十六年) 六月 六日 山口直友書狀

八三九 (慶長十六年) 六月 六日 荒木元滿書狀

八四〇 (慶長十六年) 六月 九日 島津家久書狀

八四一 慶長十六年 六月十六日 平田宗親起請文前書

八四二 六月 廿日 福島正則書狀

八四三 慶長十六年 六月廿五日 大窪某外二名連署銀子請取狀

八四四 島津家久譜 (記事)

八四五 (慶長十六年) 六月廿九日 山口直友書狀

八四六 島津家久譜 (記事)

八四七 七月十九日 青山成重書狀

八四八 (慶長十六年) 七月廿一日 徳川秀忠御内書

八四九 八月 九日 島津惟新書狀

八五〇 (慶長十六年) 八月十九日 山口直友書狀

八五一 (慶長十六年) 八月廿六日 島津家久書狀

八五二 (慶長十六年) 九月 二日 比志嶋國貞・伊勢貞昌連署狀

八五三 四月 二日 島津家久書狀

八五四 (慶長十六年) 九月 四日 徳川秀忠御内書

八五五 慶長十六年 九月 十日 樺山久高外四名連署琉球納物目錄

八五六 (慶長十六年) 九月十一日 本多正純書狀

八五七 (慶長十六年) 九月十五日 島津家久書狀

八五八 島津家久譜 (記事)

- 八五九 (慶長十六年) 九月十六日 安藤重信書状
 八六〇 (慶長十六年) 九月十九日 樺山久高外三名連署控書
 八六一 (記事) 島津家久譜
 八六二 (慶長十六年) 九月 中山王尚寧起請文
 八六三 (慶長十六年) 九月 廿日 雲心外五名連署起請文
 八六四 (慶長十六年) 九月廿二日 飯野狗留孫山権現棟札
 八六五 十月 六日 三原重種書状
 八六六 (記事) 島津家久譜
 八六七 (慶長十六年) 十月 八日 徳川秀忠御内書
 八六八 (慶長十六年) 十月十二日 本多正信書状
 八六九 (慶長十六年) 十月十二日 本多正信書状
 八七〇 (慶長十六年) 十月十八日 島津家久奉納状
 八七一 (慶長十六年) 十月十八日 町田久幸外二名連署書下
 八七二 十一月 三日 伊勢貞昌書状
 八七三 (記事) 島津家久譜
 八七四 (慶長十六年) 十月廿三日 町田久幸外三名連署条書
 八七五 (慶長十六年) 十月廿五日 島津家久書状
 八七六 (記事) 島津家久譜
 八七七 (慶長十六年) 十一月 二日 島津家久書状
 八七八 (記事) 島津家久譜
 八七九 (慶長十六年) 十一月十八日 島津家久願文
 八八〇 (慶長十六年) 十一月廿四日 島津家久書状
 八八一 (慶長十六年) 十一月廿四日 新納某請取状
 八八二 (慶長十六年) 十二月十六日 島津家久書状
 八八三 (記事) 島津家久譜
- 八八四 (慶長十六年) 十二月十八日 本多正純書状
 八八五 (慶長十六年) 十二月廿六日 徳川秀忠御内書
 八八六 (記事) 島津家久譜
 八八七 (慶長十六年) 十二月廿八日 搦斐政景書状
 卷六十七
 八八八 (慶長十七年) 正月 廿日 山口直友書状
 八八九 (慶長十七年) 二月 朔日 中井正清書状
 八九〇 (慶長十七年) 二月 九日 沢永温指出
 八九一 (慶長十七年) 三月二十日 島津惟新書状
 八九二 (慶長十七年) 三月廿二日 町田久幸外三名連署覚書
 八九三 (記事) 島津家久譜
 八九四 (慶長十七年) 四月 二日 島津家久書状
 八九五 (慶長十七年) 四月 二日 山口直友書状
 八九六 (慶長十七年) 五月 十日 島津義弘書状
 八九七 (慶長十七年) 五月 十日 島津義弘書状
 八九八 (慶長十七年) 五月 十日 島津義弘書状
 八九九 (慶長十七年) 五月 十日 島津義弘書状
 九〇〇 (慶長十七年) 五月 十日 島津家久書状
 九〇一 (慶長十七年) 五月十一日 島津義弘書状
 九〇二 (慶長十七年) 五月十二日 島津義弘書状
 九〇三 (慶長十七年) 五月 廿日 島津義弘書状
 九〇四 (慶長十七年) 六月 四日 板倉勝重書状
 九〇五 (慶長十七年) 六月十六日 島津忠仍・同菊袈裟久連署
 九〇六 (慶長十七年) 六月十七日 町田久幸覚書

九〇七 (慶長十七年)	六月廿二日	島津義弘書狀	九三二 (慶長十七年)	八月 八日	島津義弘書狀
九〇八 (慶長十七年)	六月廿二日	島津義弘書狀	九三三 (慶長十七年)	八月 八日	本多正信書狀
九〇九 (慶長十七年)	六月廿二日	島津義弘書狀	九三四 (慶長十七年)	八月 八日	本多正信書狀
九一〇 (慶長十七年)	六月廿五日	島津義弘書狀	九三五 (慶長十七年)	八月 十日	酒井忠世書狀
九一一 (慶長十七年)	七月 四日	島津義弘書狀	九三六 (慶長十七年)	八月十三日	島津義弘書狀
九一二	(記事)	島津家久譜	九三七 (慶長十七年)	八月十五日	島津義弘書狀
九一三 (慶長十七年)	七月 八日	板倉勝重書狀	九三八 (慶長十七年)	八月十七日	本多正純書狀
九一四 (慶長十七年)	七月廿五日	島津義弘書狀	九三九 (慶長十七年)	八月十七日	安藤直次書狀
九一五 (慶長十七年)	七月廿五日	島津義弘書狀	九四〇 (慶長十七年)	八月十七日	本多正純書狀
九一六 (慶長十七年)	七月廿五日	島津義弘書狀	九四一 (慶長十七年)	八月十七日	本多正純書狀
九一七 (慶長十七年)	七月廿五日	島津義弘書狀	九四二 (慶長十七年)	八月 廿日	島津義弘書狀
九一八 (慶長十七年)	七月廿五日	島津義弘書狀	九四三 (慶長十七年)	八月 廿日	某覺書
九一九 (慶長十七年)	七月廿五日	島津義弘書狀	九四四 (慶長十七年)	八月廿四日	島津義弘書狀
九二〇 (慶長十七年)	七月廿五日	島津義弘書狀	九四五 (慶長十七年)	八月廿七日	島津義弘書狀
九二一 (慶長十七年)	七月廿六日	近衛信尹書狀	九四六 (慶長十七年)	九月 二日	島津義弘書狀
九二二 (慶長十七年)	七月廿八日	島津義弘書狀	九四七 (慶長十七年)	九月 三日	中井正清書狀
九二三	(記事)	島津家久譜	九四八 (慶長十七年)	九月 六日	島津義弘書狀
九二四 (慶長十七年)	八月 朔日	徳川秀忠御内書	九四九		島津忠清一流系図
九二五 (慶長十七年)	八月 二日	島津義弘書狀	九五〇 (慶長十七年)	九月	飛鳥井雅庸書狀
九二六 (慶長十七年)	八月 三日	相良頼房書狀	九五一 (慶長十七年)	九月 十日	島津義弘書狀
九二七 (慶長十七年)	八月 四日	島津義弘書狀	九五二 (慶長十七年)	九月 十日	島津義弘書狀
九二八 (慶長十七年)	八月 六日	島津義弘書狀	九五三	九月十一日	島津義弘書狀
九二九 (慶長十七年)	八月 六日	島津義弘書狀	九五四 (慶長十七年)	九月十一日	島津義弘書狀
九三〇 (慶長十七年)	八月 六日	禁制条々	九五五 (慶長十七年)	九月十二日	島津義弘書狀
九三一 (慶長十七年)	八月 七日	島津義弘書狀	九五六 (慶長十七年)	九月廿七日	島津義弘書狀

- 九五七 (慶長十七年) 十月 二日 島津義弘書狀 (記事) 島津家久譜
- 九五八 (慶長十七年) 十月 二日 島津義弘書狀 軍衆一紙目錄
- 九五九 (慶長十七年) 後十月 九日 五代某・日高某連署銀子請取狀 卷六十八
- 九六〇 (慶長十七年) 十月十一日 山口直友書狀 (記事) 島津義久譜
- 九六一 (慶長十七年) 十月十四日 和久某書狀 島津家久息女譜
- 九六二 (慶長十七年) 十月十五日 島津義弘書狀 成正院頼真覺書
- 九六三 (慶長十七年) (記事) 北郷忠能譜 難波宗勝飛鳥并書狀
- 九六四 (慶長十七年) 十月 廿日 本多正純書狀 飛鳥并雅庸書狀
- 九六五 (慶長十七年) 十月廿九日 島津義弘書狀 島津義弘書狀
- 九六六 (慶長十七年) 閏十月 朔日 島津義弘書狀 島津義弘書狀
- 九六七 (慶長十七年) 閏十月 二日 島津惟新書狀 島津義弘書狀案
- 九六八 (慶長十七年) 閏十月 二日 山口直友書狀 島津家久書狀案
- 九六九 (慶長十七年) 閏十月 二日 山口直友書狀 三月 九日 島津家久書狀案
- 九七〇 (慶長十七年) 後十月 三日 島津義弘書狀 三月十一日 某覺書
- 九七一 (慶長十七年) 後十月 三日 島津義弘書狀 三月十四日 島津義弘書狀
- 九七二 (慶長十七年) 閏十月十二日 山口直友書狀 三月 廿日 比志嶋国貞外二名連署知行目
- 九七三 (慶長十七年) 十一月 五日 真福寺僧某書狀 錄
- 九七四 (慶長十七年) 十一月廿二日 古田重然書狀 三月 卅日 島津義弘書狀
- 九七五 (慶長十七年) 十一月廿八日 島津家久判物 四月 二日 山口直友書狀
- 九七六 (慶長十七年) 十一月廿八日 高原佐野宮棟札 四月 四日 島津義弘書狀
- 九七七 島津家久息男譜 四月 四日 島津義弘書狀
- 九七八 (慶長十七年) 十二月廿二日 山口直友書狀 四月十一日 某覺書
- 九七九 (慶長十七年) 十二月廿六日 本多正信書狀 四月十四日 島津義弘書狀
- 九八〇 (慶長十七年) 十二月廿八日 徳川秀忠御内書 四月十四日 島津義弘書狀
- 九八一 島津家久譜 (記事)
- 九八二 軍衆一紙目錄
- 九八三 慶長十七年 十二月 晦日 軍役并兵具注文
- 九八四 卷六十八
- 九八五 (慶長十八年) 二月 五日 島津義久譜 (記事)
- 九八六 (慶長十八年) 二月 五日 島津家久息女譜
- 九八七 (慶長十八年) 三月 五日 成正院頼真覺書
- 九八八 (慶長十八年) 三月 六日 難波宗勝飛鳥并書狀
- 九八九 (慶長十八年) 三月 六日 飛鳥并雅庸書狀
- 九九〇 (慶長十八年) 三月 六日 島津義弘書狀
- 九九一 (慶長十八年) 三月 六日 島津義弘書狀
- 九九二 (慶長十八年) 三月 九日 島津家久書狀案
- 九九三 島津家久書狀案
- 九九四 (慶長十八年) 三月十一日 某覺書
- 九九五 (慶長十八年) 三月十四日 島津義弘書狀
- 九九六 (慶長十八年) 三月 廿日 比志嶋国貞外二名連署知行目
- 九九七 三月 卅日 島津義弘書狀
- 九九八 (慶長十八年) 四月 二日 山口直友書狀
- 九九九 (慶長十八年) 四月 四日 島津義弘書狀
- 一〇〇〇 (慶長十八年) 四月 四日 島津義弘書狀
- 一〇〇一 (慶長十八年) 四月十一日 某覺書
- 一〇〇二 (慶長十八年) 四月十四日 島津義弘書狀
- 一〇〇三 (慶長十八年) 四月十四日 島津義弘書狀

- 一〇〇四 四月十四日 島津義弘書狀
- 一〇〇五 四月十四日 島津義弘書狀
- 一〇〇六 慶長十八年 四月十四日 高崎能乘外二名連署請取狀
- 一〇〇七 (慶長十八年) 四月廿三日 理性院觀助書狀
- 一〇〇八 慶長十八年 四月廿六日 鹿兒島支配所加増名寄
- 一〇〇九 (慶長十八年) 五月十一日 寺沢広高書狀
- 一〇一〇 (記事) 島津義弘息女御下譜
- 一〇一一 (慶長十八年) 五月十八日 島津家久書狀案
- 一〇一二 (慶長十八年) 五月 廿日 近衛信尹書狀
- 一〇一三 慶長十八年 五月廿四日 比志島國貞外二名連署知行目
- 一〇一四 五月廿六日 島津惟新書狀
- 一〇一五 慶長十八年 六月 一日 比志島國貞外二名連署覺書
- 一〇一六 慶長十八年 六月 一日 比志島國貞外二名連署掟書
- 一〇一七 (記事) 島津家久譜
- 一〇一八 (慶長十八年) 六月 六日 島津家久書狀案
- 一〇一九 (慶長十八年) 六月 九日 島津家久書狀
- 一〇二〇 (慶長十八年) 六月十九日 山口直友書狀
- 一〇二一 (記事) 島津家久譜
- 一〇二二 慶長十八年 六月廿三日 島津家久書狀
- 一〇二三 (記事) 島津義弘譜
- 一〇二四 (慶長十八年) 七月十二日 島津家久書狀案
- 一〇二五 (慶長十八年) 七月廿七日 島津家久書狀
- 一〇二六 (慶長十八年) 七月 晦日 本多正信書狀
- 一〇二七 (慶長十八年) 八月 三日 島津義弘書狀
- 一〇二八 (慶長十八年) 八月 七日 島津家久書狀案
- 一〇二九 (慶長十八年) 八月 八日 島津義弘書狀
- 一〇三〇 (慶長十八年) 八月 八日 島津家久書狀案
- 一〇三一 (慶長十八年) 八月 八日 島津家久書狀案
- 一〇三二 (慶長十八年) 八月廿一日 島津家久書狀案
- 一〇三三 (慶長十八年) 八月廿二日 島津家久書狀案
- 一〇三四 (慶長十八年) 八月廿二日 島津義弘書狀
- 一〇三五 (慶長十八年) 八月廿二日 島津義弘書狀
- 一〇三六 (慶長十八年) 八月廿二日 島津義弘書狀
- 一〇三七 (慶長十八年) 八月廿二日 島津義弘書狀
- 一〇三八 (慶長十八年) 八月廿二日 島津義弘書狀
- 一〇三九 (慶長十五年) 八月廿五日 島津惟新書狀
- 一〇四〇 (記事) 島津家久譜
- 一〇四一 (慶長十五年) 八月廿六日 本多正純書狀
- 一〇四二 (慶長十八年) 九月 八日 島津惟新書狀
- 一〇四三 (慶長十八年) 九月 八日 近衛信尹書狀
- 一〇四四 二月廿九日 島津忠嘉久書狀
- 一〇四五 慶長十八年 九月 九日 安楽某覺書
- 一〇四六 慶長十八年 九月十五日 島津家久条書
- 一〇四七 (慶長十八年) 九月十七日 比志島國貞・伊勢貞昌連署狀
- 一〇四八 慶長十八年 九月廿四日 伊勢貞昌・三原重種連署知行目録
- 一〇四九 慶長十八年 九月廿四日 伊勢貞昌・三原重種連署覺書
- 一〇五〇 (慶長十八年) 九月廿四日 山口直友書狀
- 一〇五一 (慶長十八年) 九月廿四日 島津家久書狀

一〇五二(慶長十八年) 十月 二日 島津家久書狀案

一〇五三 十月 十日 島津義弘書狀

一〇五四(慶長十八年) 十月 十日 島津義弘書狀

一〇五五(慶長十八年) 十月 十二日 伊勢貞知書狀

一〇五六(慶長十八年) 十月 十五日 奈須祐金書狀

一〇五七(慶長十八年) 十月 廿二日 板倉勝重達書

一〇五八 十月 島津家久書狀案

一〇五九 十月 島津家久書狀案

一〇六〇 十月 廿五日 島津家久書狀案

一〇六一(慶長十八年) 十月 廿五日 島津義弘書狀

一〇六二(慶長十八年) 十一月 十一日 島津家久書狀案

一〇六三(慶長十八年) 十一月 晦日 島津久賀母地書狀

一〇六四 島津惟新書狀

一〇六五(慶長十八年) 島津義弘書狀

一〇六六 十一月 二日 南郷忠重書狀

一〇六七(慶長十八年) 十一月 十六日 稻葉典通書狀

一〇六八(慶長十八年) 十一月 十六日 相良長每書狀

一〇六九(慶長十八年) 十一月 廿四日 寺沢広高書狀

一〇七〇(慶長十八年) 十二月 十四日 福島正則書狀

一〇七一(慶長十九年) 島津義弘書狀案

一〇七二 雜抄

一〇七三 慶長十八年 十二月 朔日 軍役賦帳

卷六十九

一〇七四 慶長十八年

一〇七五 高帳写 伊地知重康日記自十二月廿九日至六月廿四日

卷七十

一〇七六 (記事) 島津忠興譜

一〇七七(慶長十九年) 正月 二日 島津家久書狀案

一〇七八(慶長十九年) 正月 二日 島津家久書狀案

一〇七九(慶長十九年) 島津家久書狀案

一〇八〇(慶長十九年) 正月 六日 徳川秀忠御内書

一〇八一(慶長十九年) 正月 八日 島津家久書狀案

一〇八二(慶長十九年) 正月 十一日 徳川秀忠御内書

一〇八三(慶長十九年) 正月 十三日 徳川秀忠御内書

一〇八四 島津家久息女譜

一〇八五 (記録) 慶長十九年日記

一〇八六 日記抜書

一〇八七(慶長十九年) 二月 廿一日 豊臣秀頼黒印狀

一〇八八 慶長十九年 三月 八日 島津惟新傳授狀

一〇八九 慶長十八年 十二月 廿日 伊地知某外二名連署銀子請取狀

一〇九〇 慶長十九年 三月 十一日 伊地知某外二名連署銀子請取狀

一〇九一(慶長十九年) 三月 十九日 寺沢広高書狀

一〇九二 慶長十九年 三月 廿二日 薩隅諸縣郡高究

一〇九三(慶長十九年) 四月 廿五日 徳川秀忠御内書

一〇九四(慶長十九年) 四月 廿五日 本多正信書狀

一〇九五 慶長十九年 四月 廿八日 川上忠通・鎌田政喬連署覚書

一〇九六 (記事) 殉国名載

一〇九七 (記事) 島津家久譜

一〇九八	(慶長十九年)	五月 七日	島津家久書状	一一二一	慶長十九年	七月廿三日	町田久幸外三名連署寄進状
一〇九九	(慶長十九年)	五月十七日	長谷川藤広書状	一一二二	慶長十九年	七月廿三日	比志島國貞外三名連署宛行状
一一〇〇		(記事)	島津常久譜	一一二三	慶長十九年	七月廿五日	町田久幸外三名連署知行目録
一一〇一	慶長十九年	六月 八日	島津惟新袖署判覚書	一一二四	慶長十九年	七月廿五日	町田久幸外三名連署知行目録
一一〇二		(記事)	島津家久譜	一一二五	慶長十九年	七月廿一日	町田久幸外三名連署宛行状
一一〇三			御譜抄	二六〇の一	慶長十九年	七月廿一日	町田久幸外三名連署知行目録
一一〇四	(慶長十九年)	六月廿七日	島津家久書状	二六〇の二			長福寺差出
一一〇五	慶長十九年	六月廿七日	伊勢貞昌外二名連署知行目録	一一二七	慶長十九年	七月廿一日	町田久幸外三名連署知行目録
一一〇六	慶長十九年	六月廿七日	伊勢貞昌外二名連署知行目録	一一二八	慶長十九年	七月廿一日	町田久幸外三名連署知行目録
一一〇七	慶長十九年	六月廿七日	三原重種外二名連署知行目録	一一二九	慶長十九年	七月廿一日	町田久幸外三名連署知行目録
一一〇八	慶長十九年	六月廿七日	伊勢貞昌外二名連署知行目録	一一三〇	慶長十九年	七月廿一日	町田久幸外三名連署宛行状
一一〇九	慶長十九年	六月廿七日	比志島國貞外二名連署知行目録	一一三一	慶長十九年	七月廿一日	高岡支配所名寄帳抄
一一一〇		(記事)	島津久元譜	一一三二	慶長十九年	七月廿一日	伊勢貞昌外三名連署宛行状
一一一一	慶長十九年	六月 晦日	額姪久政・川上久好連署知行目録	一一三三	慶長十九年	七月廿一日	高岡支配所名寄帳抄
一一一二	(慶長十九年)	七月 八日	島津義弘書状	一一三五	慶長十九年	七月廿三日	町田久幸外三名連署知行目録
一一一三	慶長十九年	七月十三日	町田久幸外三名連署知行目録	一一三六	慶長十九年	七月廿五日	町田久幸外三名連署知行目録
一一一四		(記事)	島津家久譜	一一三七			町田久幸外三名連署知行目録
一一一五		(記事)	喜入忠統譜	一一三八	慶長十九年	八月 二日	日光神社名寄帳
一一一六	(慶長十九年)	七月十五日	島津家久書状案	一一三九	慶長十九年	八月 二日	日光神社名寄帳
一一一七	(慶長十九年)	七月十七日	徳川秀忠御内書	一一四〇			島津家久息女譜
一一一八	慶長十九年	七月廿三日	町田久幸外三名連署知行目録	一一四一	慶長十九年	八月十六日	町田久幸外三名連署知行目録
一一一九	慶長十九年	七月廿三日	町田久幸外三名連署知行目録	一一四二		(記事)	児玉利貞譜
一一二〇	慶長十九年	七月廿三日	町田久幸外三名連署寄進状	一一四三	慶長十九年	八月 五日	町田久幸外三名連署知行目録

一一四四	慶長十九年	八月 五日	町田久幸外三名連署寄進狀	一一六九	慶長十九年	九月廿三日	大野治長書狀
一一四五	慶長十九年	八月 四日	島津家久書狀	一一七〇	慶長十九年	九月廿三日	豊臣秀頼書狀
一一四六	慶長十九年	八月 四日	島津家久書狀案	一一七一	慶長十九年	九月廿三日	豊臣秀頼書狀
一一四七	慶長十九年	八月 五日	島津家久書狀案	一一七二	慶長十九年	九月廿三日	豊臣秀頼書狀
一一四八	慶長十九年	八月 八日	山口直友書狀	一一七三	慶長十九年	九月廿三日	大野治長書狀
一一四九	慶長十九年	八月 九日	町田久幸外三名連署知行目錄	一一七四	慶長十九年	九月廿三日	大野治房書狀
一一五〇	慶長十九年	八月 十日	島津義弘書狀	一一七五	慶長十九年	九月廿五日	牧某書狀
一一五一	慶長十九年	八月 十日	町田久幸外三名連署宛行狀	一一七六	慶長十九年	九月廿六日	山口直友書狀
一一五二			御日記抄	一一七七	慶長十九年		島津家久書狀
一一五三	慶長十九年	八月十二日	長谷川藤広書狀	一一七八	慶長十九年	十月 朔日	細川忠興書狀
一一五四	慶長十九年	八月十二日	島津家久書狀案	一一七九	慶長十九年	十月 八日	山口直友書狀
一一五五	慶長十九年	八月十三日	山口直友書狀	一一八〇	慶長十九年	十月十三日	島津惟新書狀
一一五六	慶長十九年	八月廿六日	島津家久書狀	一一八一	慶長十九年	十月十三日	島津家久書狀
一一五七			(記事) 島津家久譜	一一八二	慶長十九年	十月十三日	島津家久書狀
一一五八	慶長十九年	八月廿八日	島津家久書狀	一一八三	慶長十九年	十月十六日	島津家久袖判覚書
一一五九	慶長十九年	八月廿八日	島津家久判物	一一八四	慶長十九年	十月 廿日	山口直友書狀
一一六〇	慶長十九年	八月 晦日	島津家久書狀	一一八五	慶長十九年	十月廿五日	細川忠興覚書
一一六一			(記事) 島津家久譜	一一八六	慶長十九年	十月廿五日	島津家久書狀
一一六二	慶長十九年	九月 七日	島津家久起請文案	一一八七		十月廿五日	板倉勝重外三名連署狀
一一六三	慶長十九年	九月十一日	町田久幸外三名連署知行目錄	一一八八	慶長十九年	十一月 六日	佐多忠増外二名連署書下
一一六四	慶長十九年	九月十三日	昭高院如雪書狀	一一八九			慶長十九年日記
一一六五	慶長十九年	九月十三日	伊尻祐存書狀	一一九〇			右同日記
一一六六			(記事) 島津家久譜	一一九一			大阪之陣事書
一一六七			(記録) 加治木御日記	一一九二		十一月 二日	島津家久書狀
一一六八	慶長十九年	九月廿三日	豊臣秀頼書狀	一一九三	慶長十九年	十一月 二日	島津家久書狀

- 一一九四 (慶長十九年) 十一月 二日 島津家久書狀
- 一一九五 (慶長十九年) 十一月 三日 山口直友書狀
- 一一九六 (慶長十九年) 十一月 六日 佐多忠増外二名連署書下
- 一一九七 (慶長十九年) 十一月十八日 豊臣秀頼書狀
- 一一九八 (慶長十九年) 十一月十八日 織田有楽長書狀
- 一一九九 (慶長十九年) 十一月十八日 大野治長書狀
- 一二〇〇 (慶長十九年) 十一月 吉日 諏訪兼安・三原重貞連署起請
- 一二〇一 (慶長十九年) 十一月 吉日 海老原為重起請文
- 一二〇二 留守中之日日記
- 一二〇三 (慶長十九年) 十二月 一日 島津家久書狀
- 一二〇四 (慶長十九年) 十二月 七日 松平定勝書狀
- 一二〇五 (慶長十九年) 十二月 九日 板倉勝重書狀
- 一二〇六 (慶長十九年) 十二月十四日 北郷忠能譜
- 一二〇七 本多正純書狀
- 一二〇八 (慶長十九年) 十二月十五日 北郷忠能譜
- 一二〇九 (慶長十九年) 十二月十五日 島津家久書狀
- 一二一〇 (慶長十九年) 十二月十六日 伊勢貞昌書狀
- 一二一一 島津家久書狀拔書
- 一二一二 (慶長十九年) 十二月廿一日 山口直友・本多正純連署狀
- 一二一三 (慶長十九年) 十二月廿二日 本多正純書狀
- 一二一四 (慶長十九年) 十二月廿二日 北郷忠能譜
- 一二一五 北郷久加譜
- 一二一六 島津義弘吉書
- 一二一七 (元和 元年) 正月 二日 島津家久書狀
- 一二一八 (元和 元年) 正月十一日 本多正信書狀
- 一二一九 (慶長二十年) 二月十九日 町田久幸外三名連署知行目録
- 一二二〇 比志島國貞・伊勢貞昌連署狀
- 一二二一 (元和 元年) 九月 三日 比志島國貞・伊勢貞昌連署狀
- 一二二二 (元和 元年) 二月 廿日 島津惟新書狀
- 一二二三 (元和 元年) 島津家久書狀
- 一二二四 (慶長 廿年) 三月 二日 町田久幸外三名連署知行目録
- 一二二五 (慶長 廿年) 三月 四日 本多正純書狀
- 一二二六 (慶長 廿年) 三月 六日 比志島國貞外二名連署知行目録
- 一二二七 鹿兒島御支配所知行名寄帳
- 一二二八 早水某申狀
- 一二二九 島津家久譜
- 一二三〇 (慶長 廿年) 三月廿二日 島津家久追悼和歌
- 一二三一 (慶長 廿年) 三月廿二日 日置某外二名連署書下
- 一二三二 (慶長二十年) 四月 二日 佐多忠増外二名連署書下
- 一二三三 (慶長 廿年) 四月 二日 佐多忠増外二名連署書下
- 一二三四 (慶長 廿年) 四月 二日 市來家繁書下
- 一二三五 (元和 元年) 四月 八日 佐多忠増・本田親正連署書下
- 一二三六 (元和 元年) 四月 八日 本多正純書狀
- 一二三七 (元和 元年) 四月 十日 本多正純書狀
- 一二三八 (慶長 廿年) 四月十六日 細川忠興書狀
- 一二三九 (元和 元年) 四月十九日 喜入忠政書狀
- 一二四〇 (元和 元年) 四月 廿日 山口直友書狀
- 一二四一 本多正純書狀

卷七十一

- 二四一 (元和 元年) 四月 廿日 山口直友書狀
 二四二 (元和 元年) 四月 廿日 道正庵某書狀
 二四三 (元和 元年) 四月 廿日 道正庵某書狀
 二四五 (元和 元年) 四月 廿日 島津家久息女譜
 二四六 (元和 元年) 五月 二日 飛鳥井雅庸書狀
 二四七 (元和 元年) 五月 九日 山口直友書狀
 二四八 (元和 元年) 五月 十五日 北郷忠能譜
 二四九 (元和 元年) 五月 十五日 島津義弘書狀
 二五〇 (元和 元年) 五月 十六日 北郷忠能譜
 二五一 (元和 元年) 五月 十六日 板倉勝重書狀
 二五二 (元和 元年) 五月 十六日 山口直友書狀
 二五三 (元和 元年) 五月 十七日 有川貞政書狀
 二五四 (元和 元年) 五月 廿四日 島津惟新書狀
 二五五 (元和 元年) 五月 廿五日 細川忠興書狀
 二五六 (慶長二十年) 六月 二日 本多正信書狀
 二五七 (元和 元年) 六月 三日 本多正信書狀
 二五八 (元和 元年) 六月 五日 渡辺茂書狀
 二五九 (元和 元年) 六月 六日 本多正純書狀
 二六〇 (元和 元年) 六月 八日 本多正勝書狀
 二六一 (元和 元年) 六月 八日 長谷川藤広書狀
 二六二 (元和 元年) 六月 十日 本多正信書狀
 二六三 (慶長 廿年) 六月 十一日 大阪夏の陣巨細条書
 二六四 (元和 元年) 六月 十二日 大阪夏の陣城攻絵図
 二六五 (元和 元年) 六月 十二日 土井利勝書狀
- 二六六 (元和 元年) 六月 十二日 尻玉利昌譜
 二六七 (慶長二十年) 六月 十二日 島津家久書狀
 二六八 (元和 元年) 六月 十四日 昭高院如雪書狀
 二六九 (元和 元年) 六月 十四日 酒井忠世外二名連署狀
 二七〇 (元和 元年) 六月 十六日 藤堂高虎書狀
 二七一 (慶長二十年) 六月 吉日 琉球王子朝昌起請文
 二七二 (元和 元年) 六月 廿一日 島津家久書狀
 二七三 (元和 元年) 六月 廿四日 近衛信尹書狀
 二七四 (元和 元年) 六月 廿六日 島津惟新書狀
 二七五 (元和 元年) 六月 廿八日 酒井忠世外二名連署狀
 二七六 (元和 元年) 閏六月 朔日 福島正則書狀
 二七七 (元和 元年) 閏六月 二日 伊勢貞昌書狀
 二七八 (元和 元年) 閏六月 四日 島津家久書狀
 二七九 (元和 元年) 閏六月 六日 伊勢貞昌書狀
 二八〇 (元和 元年) 閏六月 十三日 酒井忠世外二名連署狀
 二八一 (元和 元年) 閏六月 十六日 島津家久書狀
 二八二 (元和 元年) 閏六月 廿五日 島津惟新書狀
 二八三 (元和 元年) 後六月 廿九日 本多正純書狀
 二八四 (元和 元年) 七月 願成寺鐘名
 二八五 (慶長二十年) 七月 願成寺鐘名
 二八六 (元和 元年) 七月 二日 良弼親王書狀
 二八七 (元和 元年) 七月 二日 徳川秀忠御内書
 二八八 (元和 元年) 七月 四日 西洞院時直書狀
 二八九 (元和 元年) 七月 九日 本多正信書狀
 二九〇 (元和 元年) 七月 十日 島津家久書狀

- 一一九一 (記事) 島津家久譜
 一一九二 (記事) 殉国名敷
 一一九三 (記事) 桂忠防譜
 一一九四 (元和 元年) 七月十九日 西洞院時直書狀
 一一九五 (元和 元年) 七月廿三日 徳川家康御内書
 一一九六 (元和 元年) 八月廿四日 本多正純外三名連署狀
 一一九七 八月廿四日 某書狀
 一一九八 (元和 元年) 九月 三日 中山王尚寧書狀
 一一九九 (元和 元年) 九月十八日 比志島国貞外二名連署捉書
 一二〇〇 (元和 元年) 九月 廿日 後藤長乘書狀
 一二〇一 (元和 元年) 九月 廿日 島津家久書狀
 一二〇二 (記事) 島津家久譜
 一二〇三 (元和 元年) 九月廿二日 土井利勝書狀
 一二〇四 (元和 元年) 九月廿四日 福島正則書狀
 一二〇五 (元和 元年) 九月廿九日 本多正純書狀
 一二〇六 十月 三日 伊東祐慶書狀
 一二〇七 十月 三日 伊東祐実・長倉兵茂連署狀
 一二〇八 (元和 元年) 十月 三日 伊東祐実・長倉兵茂連署起請
 文
 一一〇九 十月 三日 伊東祐実・長倉兵茂連署狀
 一一一〇 (元和 元年) 十月 十日 福島正則書狀
 一一一一 (記事) 島津家久譜
 一一一二 (元和 元年) 十月十一日 島津家久書狀
 一一一三 (元和 元年) 十月十六日 上村某・小森某連署請取狀
 一一一四 (元和 元年) 十月廿四日 酒井忠世書狀
 一三一五 (元和 元年) 十月廿五日 島津家久書狀
 一三一六 (元和 元年) 十一月十九日 徳川秀忠御内書
 一三七七 (元和 元年) 十一月廿五日 松平定勝書狀
 一三二八 (元和 元年) 十二月廿四日 三原重種書狀
 一三一九 (元和 元年) 十二月廿九日 本多正信書狀
 一三二〇「慶長十九年」十二月廿九日 三原重種書狀
 一三二一 (元和 元年) 十二月 吉日 野村久綱起請文
 一三二二 (記事) 北郷翁久譜
 卷七十二
 一三二三 (元和 二年) 正月十一日 島津家久書狀
 一三四四 (記事) 島津家久譜
 一三三五 (元和 二年) 二月廿八日 島津惟新書狀
 一三三六 吉利氏系図
 一三七七 (元和 二年) 三月十四日 島津家久書狀
 一三三八 (元和 二年) 三月廿一日 島津家久書狀
 一三三九 (元和 二年) 三月廿一日 島津家久書狀
 一三三〇 (元和 二年) 三月廿五日 本多正信書狀
 一三三一 (元和 二年) 三月廿五日 島津家久書狀
 一三三二 (記事) 島津家久譜
 一三三三 (元和 二年) 三月廿七日 島津家久書狀
 一三三四 (記事) 島津家久譜
 一三三五 (元和 二年) 四月 朔日 島津惟新書狀
 一三三六 (元和 二年) 四月 二日 福島正則書狀
 一三三七 (記事) 島津義弘譜
 一三三八 (記事) 島津家久譜

- 一三三九 (元和二年) 四月十六日 島津家久書狀
一三四〇 四月十七日 松平定行書狀
一三四一 (元和二年) 四月十七日 山口直友書狀
一三四二 (元和二年) 四月十八日 細川忠利書狀
一三四三 (元和二年) 四月廿六日 島津家久書狀
一三四四 (記事) 島津家久譜
一三四五 (元和二年) 五月 朔日 安藤重信書狀
一三四六 (元和二年) 五月 朔日 本多正純書狀
一三四七 (元和二年) 五月 三日 町田久幸・比志島國貞連署狀
一三四八 (元和二年) 五月 四日 寺沢広高書狀
一三四九 (元和二年) 五月 十日 荒木元滿書狀
一三五〇 (元和二年) 五月 晦日 飛鳥井雅胤書狀
一三五一 (記事) 島津家久譜
一三五二 七月十二日 島津家久書狀
一三五三 (記事) 島津義弘譜
一三五四 (元和二年) 六月 八日 島津家久書狀
一三五五 (元和二年) 六月十四日 酒井忠世外二名連署狀写
一三五六 (元和二年) 六月十五日 中山王覺書
一三五七 (記事) 島津家久譜
一三五八 元和二年 六月 日 須知之簿
一三五九 六月十六日 島津惟新書狀
一三六〇 (元和二年) 六月廿一日 近衛信尹書狀
一三六一 (元和二年) 六月廿七日 島津家久書狀
一三六二 (元和二年) 六月 晦日 島津家久書狀
一三六三 (記事) 島津義弘譜
- 一三六四 (記事) 北郷翁久譜
一三六五 元和二年 七月 三日 酒井忠利外三名連署違書
一三六六 (元和二年) 八月 八日 酒井忠世外四名連署狀
一三六七 元和二年 八月廿六日 町田久幸外二名連署条書
一三六八 (元和二年) 九月 七日 徳川秀忠御内書
一三六九 九月 八日 島津惟新書狀
一三七〇 (記事) 島津家久譜
一三七一 (元和二年) 九月十二日 本多正純書狀
一三七二 (記事) 島津家久譜
一三七三 (記事) 島津義弘譜
一三七四 (元和二年) 十一月廿六日 山口直友書狀
一三七五 (記事) 島津家久譜
一三七六 (元和二年) 十二月 六日 本多正純書狀
一三七七 (元和二年) 十二月 七日 徳川秀忠御内書
一三七八 (記事) 児玉氏譜
一三七九 元和二年 十二月廿一日 児玉利昌軍忠覺書
一三八〇 元和二年 十二月廿七日 飯野西方寺阿弥陀堂棟札
一三八一 (記事) 島津家久譜
一三八二 (元和三年) 二月十四日 安藤直次・本多正純連署狀
一三八三 (元和三年) 三月 一日 島津家久書狀
一三八四 (元和二年) 八月 八日 酒井忠世外四名連署奉書
一三八五 (記事) 島津義弘譜
一三八六 元和三年 三月十一日 町田久幸外三名連署狀
一三八七 (記事) 島津家久譜
一三八八 (元和三年) 八月 八日 酒井忠世外四名連署奉書

- 一三八九 (元和 三年) 三月十三日 島津家久書狀案
 一三九〇 (元和 三年) 三月十三日 島津家久書狀案
 一三九一 (記事) 島津家久譜
 一三九二 (元和 三年) 三月十五日 島津家久追悼和歌
 一三九三 (記事) 島津家久譜
 一三九四 元和 三年 三月廿三日 町田久幸・比志島園貞連署案書
 一三九五 (記事) 児玉氏譜
 一三九六 (元和 三年) 三月廿三日 児玉利貞書狀
 一三九七 (記事) 島津家久譜
 一三九八 (元和 三年) 三月廿五日 島津家久書狀
 一三九九 (記事) 島津家久譜
 一四〇〇 (元和 三年) 三月廿六日 中山王書狀
 一四〇一 (記事) 島津義弘譜
 一四〇二 (記事) 島津家久譜
 一四〇三 (元和 三年) 四月十八日 島津家久書狀
 一四〇四 四月十八日 伊勢貞昌書狀
 一四〇五 (元和 三年) 四月廿一日 西洞院時直書狀
 一四〇六 元和 三年 四月廿六日 鬼塚某外二名請取狀
 一四〇七 五月 二日 徳川秀忠御内書
 一四〇八 (元和 三年) 五月 九日 本多正純書狀
 一四〇九 (元和 三年) 五月十六日 本多正純書狀
 一四一〇 (記事) 島津家久譜
 一四一一 (元和 三年) 六月 二日 本多正純書狀
 一四一二 (元和 三年) 六月 三日 加藤重正書狀
 一四一三 (元和 三年) 六月 七日 島津家久書狀
 一四一四 (元和 三年) 六月 七日 島津家久書狀
 一四一五 (記事) 北郷翁久譜
 一四一六 元和 三年 六月十五日 吉松内小野寺知行名寄帳
 一四一七 元和 三年 六月十五日 吉松内小野寺知行名寄帳
 一四一八 元和 六年 三月十九日 吉松内小野寺知行名寄帳
 一四一九 (元和 三年) 七月 九日 西洞院時慶書狀
 一四二〇 (元和 三年) 七月 十日 島津家久書狀
 一四二一 (記事) 島津家久譜
 一四二二 (元和 三年) 七月 十日 島津家久書狀
 一四二三 七月 十日 島津家久書狀
 一四二四 元和 三年 七月 十二日 島津家久條書
 一四二五 (記事) 島津家久譜
 一四二六 (元和 三年) 七月 十七日 本多正純書狀
 一四二七 (元和 三年) 七月 十七日 板倉勝重書狀
 一四二八 (記事) 島津家久譜
 一四二九 元和 三年 七月 十八日 藏人頭広橋兼賢奉口宣案
 一四三〇 (元和 三年) 七月 十九日 速水某・同某連署狀
 一四三一 (元和 三年) 七月 十九日 福島正則書狀
 一四三二 七月 十九日 飛鳥井雅胤書狀
 一四三三 (元和 三年) 七月 廿日 西洞院時慶書狀
 一四三四 (記事) 島津家久譜
 一四三五 七月 廿二日 西洞院時直書狀
 一四三六 (元和 三年) 七月 廿三日 西洞院時慶書狀
 一四三七 (元和 三年) 七月 廿五日 松平定綱書狀

一四三八	(元和 三年)	七月廿五日	町田久幸外三名連署知行目錄	一四六二	(元和 三年)	九月三日	米津田政書狀
一四三九	(元和 三年)	(記事)	島津家久譜	一四六三	(元和 三年)	(記事)	島津家久譜
一四四〇	(元和 三年)	七月廿七日	島津家久添書	一四六四	(元和 三年)	九月五日	徳川秀忠判物寫
一四四一	(元和 三年)	八月五日	西洞院時直書狀	一四六五	(元和 三年)	九月八日	島津惟新書狀
一四四二	(元和 三年)	(記事)	島津家久譜	一四六六	(元和 三年)	九月九日	徳川秀忠御内書
一四四三	(元和 三年)	八月八日	西洞院時直書狀	一四六七	(元和 三年)	九月十九日	那須祐増・同祐実連署狀
一四四四	(元和 三年)	八月九日	西洞院時直書狀	一四六八	(元和 三年)	九月廿二日	福島正則書狀
一四四五	(元和 三年)	八月九日	西洞院時慶書狀	一四六九	(元和 三年)	(記事)	島津家久譜
一四四六	(元和 三年)	八月十日	西洞院時直書狀	一四七〇	(元和 三年)	十月八日	松平定綱書狀
一四四七	(元和 三年)	八月十一日	西洞院時直書狀	一四七一	(元和 三年)	十月廿五日	島津久元外三名連署狀
一四四八	(元和 三年)	八月十一日	西洞院時慶書狀	一四七二	(元和 三年)	十一月三日	町田久幸外三名連署狀
一四四九	(元和 三年)	八月十三日	西洞院時直書狀	一四七三	(元和 三年)	十一月五日	島津家久書狀
一四五〇	(元和 三年)		理性院観助書狀	一四七四	(元和 三年)	十一月五日	島津家久書狀
一四五一	(元和 三年)	八月十九日	西洞院時慶書狀	一四七五	(元和 三年)		由緒書
一四五二	(元和 三年)	八月廿四日	島津家久書狀	一四七六	(元和 三年)	十一月十九日	町田久幸外三名連署知行目錄
一四五三	(元和 三年)	(記事)	島津家久譜	一四七七	(元和 三年)	(記事)	島津家久譜
一四五四	(元和 三年)	八月廿七日	本多正純書狀	一四七八	(元和 三年)		島津光久譜
一四五五	(元和 三年)	八月廿七日	島津家久書狀	一四七九	(元和 三年)	十二月十日	徳川秀忠御内書
一四五六	(元和 三年)	八月廿七日	那須某書狀	一四八〇	(元和 三年)	十二月廿七日	徳川秀忠御内書
一四五七	(元和 三年)	(記事)	島津家久譜	一四八一	(元和 四年)	十二月廿八日	徳川秀忠御内書
卷七十三				一四八二	(元和 四年)	正月二日	島津義弘書狀
一四五八	(元和 三年)	九月二日	細川忠利書狀	一四八三	(元和 四年)	(記事)	島津家久譜
一四五九	(元和 三年)	九月二日	安藤重信書狀	一四八四	(元和 四年)	正月五日	徳川秀忠御内書
一四六〇	(元和 三年)	(記事)	島津家久伝	一四八五	(元和 四年)	正月十二日	徳川家光直書
一四六一	(元和 三年)	九月三日	島津久元外三名連署狀	一四八六	(元和 四年)	(記事)	島津義弘譜

- 一四八七 (元和 四年) 二月十三日 島津義弘書狀
一四八八 (元和 四年) 二月十三日 島津義弘書狀
一四八九 (元和 四年) 二月十三日 島津義弘書狀
一四九〇 (元和 四年) 二月十七日 島津義弘書狀
一四九一 (元和 四年) 閏二月廿五日 徳川秀忠御内書
一四九二
一四九三 雑抄
一四九四 雑抄
一四九五 雑抄
一四九六 (記事) 島津義弘譜
一四九七 (元和 四年) 三月三日 伊勢貞知書狀
一四九八 (元和 四年) 三月五日 島津義弘書狀
一四九九 (元和 四年) 三月五日 島津義弘書狀
一五〇〇 (元和 四年) 閏三月五日 本多正純書狀
一五〇一 (元和 四年) 三月十九日 島津義弘書狀
一五〇二 (元和 四年) 三月 廿日 島津義弘書狀
一五〇三 (元和 四年) 三月廿八日 島津義弘書狀
一五〇四 (元和 四年) 閏三月 三日 本田親存・比志島國詮連署書
一五〇五 (元和 四年) 閏三月廿二日 島津家久書狀
一五〇六 (記事) 島津家久譜
一五〇七 (元和 四年) 閏三月廿五日 徳川秀忠御内書
一五〇八 (元和 四年) 閏三月廿五日 徳川秀忠御内書写
一五〇九 (元和 四年) 四月 二日 島津義弘書狀
一五一〇 (記事) 島津家久譜
一五一一 (元和 四年) 四月 二日 本多正純書狀
一五二二 (元和 四年) 四月 三日 時任某三名連署請取狀
一五二三 (元和 四年) 四月 九日 酒井忠世書狀
一五二四 四月十三日 正阿弥宗喜書狀
一五二五 (記事) 島津義弘譜
一五二六 (元和 四年) 四月廿二日 島津惟新書狀
一五二七 (元和 四年) 五月 三日 島津家久覺書
一五二八 (元和 四年) 五月 四日 徳川秀忠御内書
一五二九 (元和 四年) 五月十八日 徳川秀忠御内書
一五三〇 (記事) 島津義弘譜
一五三一 (元和 四年) 五月 六日 土井利勝書狀
一五三二 (元和 四年) 五月 七日 比志島國貞外三名連署手形
一五三三 (元和 四年) 五月 九日 島津家久書狀
一五三四 (記事) 島津家久譜
一五三五 (元和 四年) 六月 三日 近衛信尋書狀
一五三六 (元和 四年) 六月 四日 西洞院時直書狀
一五三七 (元和 四年) 六月 十三日 飛鳥井雅胤書狀
一五三八 (記事) 島津義弘譜
一五三九 (元和 四年) 六月十五日 中山王書狀
一五四〇 (記事) 島津義弘譜
一五四一 (元和 四年) 七月 十日 本多正純書狀
一五四二 (元和 四年) 七月廿五日 島津久元外三名連署達書
一五四三 飯野長善寺棟札
一五四四 (記事) 島津家久譜
一五四五 (元和 四年) 八月 二日 寺沢広高書狀
一五三六 (記事) 島津義弘譜

- 一五三七 元和 四年 八月 晦日 島津久元外三名連署覚書
一五三八 九月 七日 徳川秀忠御内書
一五三九 (元和 四年) 九月十一日 藤堂高虎書狀
一五四〇 島津光久譜
一五四一 島津家久譜 (記事)
一五四二 (元和 四年) 九月十八日 板倉勝重書狀
一五四三 (元和 四年) 十月 十日 松平定綱書狀
一五四四 (元和 四年) 十月十一日 本多正純書狀
一五四五 (元和 四年) 十一月十五日 飛鳥井雅胤書狀
一五四六 十一月十六日 島津家久書狀
一五四七 (元和 四年) 十一月十六日 島津家久書狀
一五四八 (元和 四年) 十一月 廿日 徳川秀忠御内書
一四九九 (元和 四年) 十一月廿三日 島津義弘書狀
一五五〇 元和 四年 十一月廿三日 島津久元外四名連署達書
一五五一 元和 四年 十一月廿九日 島津家久寄進狀
一五五二 (記事) 児玉氏譜
一五五三 児玉利政外八名詠草
一五五四 島津家久詠草
一五五五 元和 四年 十二月 五日 小森某外二名連署請取狀
一五五六 (記事) 島津義弘譜
一五五七 (元和 四年) 十二月 六日 島津義弘書狀
一五五八 (元和 四年) 十二月 七日 島津義弘書狀
一五五九 (元和 四年) 十二月 七日 島津義弘書狀
一五六〇 (元和 四年) 十二月 七日 島津義弘書狀
一五六一 (元和 四年) 十二月十一日 島津義弘書狀
一五六二 (元和 四年) 十二月十四日 島津義弘書狀
一五六三 (元和 四年) 十二月十五日 松平定勝書狀
一五六四 十二月廿三日 徳川秀忠御内書
一五六五 十二月廿九日 徳川秀忠御内書
卷七十四
一五六六 島津家久譜 (記事)
一五六七 正月 八日 徳川家光直書
一五六八 (元和 五年) 五月) 廿五日 島津家久書狀
一五六九 (元和 五年) 正月廿五日 島津家久書狀
一五七〇 (記事) 島津家久譜
一五七一 (記事) 島津久元譜
一五七二 (元和 五年) 島津惟新書狀
一五七三 島津義弘武功略記
一五七四 元和 五年 二月 七日 肥後盛次外二百二十一名連署
起請文
一五七五 元和 五年 二月十五日 島津家久書下
一五七六 (記事) 島津家久譜
一五七七 (元和 五年) 二月十九日 本多正純・土井利勝連署狀
一五七八 (記事) 島津忠朗譜
一五七九 (記事) 島津家久譜
一五八〇 (元和 五年) 三月廿五日 島津家久書狀
一五八一 (元和 五年) 四月 七日 飛鳥井雅胤書狀
一五八二 (記事) 島津家久譜
一五八三 (元和 五年) 四月十五日 難波兼勝書狀
一五八四 (記事) 島津家久譜

- 一五八五 (元和 五年) 四月廿二日 島津久元・伊勢貞昌連署状
一五八六 (元和 五年) 四月廿三日 島津惟新書状
一五八七 (元和 五年) 五月 朔日 興意入道親王書状
一五八八 五月 二日 徳川秀忠御内書
(記事) 島津家久譜
一五八九 板倉勝重書状
一五九〇 (元和 五年) 五月 二日 島津家久譜
(記事) 島津家久譜
一五九一 島津家久譜
一五九二 八条智仁親王張行和歌及会席
(記事) 圖
- 一五九三 (元和 五年) 五月 六日 興意入道親王書状
一五九四 (元和 五年) 五月十七日 後醍院宗重軍忠覚書
一五九五 (元和 五年) 五月 六日 島津久元・町田久幸連署状
一五九六 五月 六日 土井利勝書状
一五九七 (元和 五年) 五月 七日 伊勢貞知書状
一五九八 (元和 五年) 五月十五日 理性院観助書状
一五九九 (元和 五年) 五月廿一日 島津家久書状
一六〇〇 (元和 五年) 五月廿一日 島津家久書状
一六〇一 (元和 五年) 五月廿四日 細川忠利書状
一六〇二 (記事) 島津家久譜
一六〇三 (元和 五年) 五月廿六日 日下部宗好外二名連署状
一六〇四 (元和 五年) 五月廿八日 良恕入道親王書状
一六〇五 (記事) 島津家久譜
一六〇六 (元和 五年) 六月 三日 伊勢貞昌覚書
一六〇七 六月 四日 西洞院時直書状
(記事) 島津家久譜
一六〇八
- 一六〇九 (元和 五年) 六月 四日 島津忠朗進物目錄
一六一〇 (元和 五年) 六月 五日 本田親政・高崎能乘連署状
一六一一 六月廿四日 島津義弘書状
一六一二 (元和 五年) 七月 三日 島津家久掟書案
一六一三 (元和 五年) 七月 三日 島津家久掟書
一六一四 島津義弘辞世和歌
一六一五 (元和 五年) 七月廿一日 阿蘇玄与追悼和歌
(記事) 某忠俊追悼和歌
一六一六 喜入紹嘉久追悼和歌
一六一七 三原重種追悼和歌
一六一八 喜入忠政・比志島国貞追悼和歌
一六一九 歌
- 一六二〇 (元和 五年) 八月廿四日 伊勢貞豊追悼和歌
一六二一 日説追悼和歌
一六二二 (記事) 島津家久譜
一六二三 (元和 五年) 七月廿七日 大橋親正書状
一六二四 (記事) 殉国名藪
一六二五 (記事) 島津家久譜
一六二六 (記事) 島津忠興譜
一六二七 (元和 五年) 八月 四日 上井里兼・相良頼豊連署状
一六二八 (記事) 島津家久譜
一六二九 (元和 五年) 八月廿二日 細川忠利書状
一六三〇 (元和 五年) 八月廿三日 新納久治書状
一六三一 (記事) 島津義弘譜
一六三二 (元和 五年) 八月廿七日 細川忠興書状

- 一六三三 (記事) 島津家久譜
- 一六三四 (元和 五年) 八月廿九日 徳川秀忠御内書
- 一六三五 (元和 五年) 九月 朔日 花房元則書状
- 一六三六 (元和 五年) 九月 五日 山崎正次書状
- 一六三七 (元和 五年) 九月 六日 徳川秀忠御内書
- 一六三八 (元和 五年) 九月 七日 寸苗坊紹之書状
- 一六三九 (記事) 島津家久譜
- 一六四〇 (元和 五年) 九月 八日 酒井忠利書状
- 一六四一 (元和 五年) 九月 九日 酒井忠利・青山忠俊連署状
- 一六四二 (元和 五年) 九月 廿日 島津家久書状
- 一六四三 (元和 五年) 九月 廿三日 比志島國貞外二名連署覚書
- 一六四四 (元和 五年) 十月 廿日 島津家久書状
- 一六四五 (記事) 島津光久譜
- 一六四六 (記事) 島津家久譜
- 一六四七 (元和 五年) 十月 晦日 花房元則書状
- 一六四八 (元和 五年) 十一月 三日 町田久幸外三名連署状
- 一六四九 (記事) 島津家久譜
- 一六五〇 (元和 五年) 十一月 廿七日 伊勢貞昌書状
- 一六五一 (元和 五年) 十二月 七日 島津家久書状
- 一六五二 (記事) 島津義弘息女御下譜
- 一六五三 (元和 五年) 十二月 七日 徳川秀忠御内書
- 一六五四 (元和 五年) 十二月 廿三日 酒井忠利書状
- 一六五五 (元和 五年) 十二月 十六日 本多正純書状
- 一六五六 (元和 五年) 十二月 廿二日 某条書
- 一六五七 (元和 五年) 十二月 廿五日 徳川秀忠御内書
- 一六五八 (記事) 島津家久譜
- 一六五九 (元和 五年) 十二月 廿九日 水野忠元書状
- 卷七十五
- 一六六〇 (記事) 島津忠興譜
- 一六六一 (記事) 島津忠朗譜
- 一六六二 (記事) 島津忠清譜
- 一六六三 (記事) 島津家久室譜
- 一六六四 (記事) 島津家久譜
- 一六六五 (元和 六年) 正月 七日 徳川秀忠御内書
- 一六六六 (元和 六年) 正月 十八日 本多正純書状
- 一六六七 (元和 六年) 二月 十六日 花房元則書状
- 一六六八 (記事) 島津家久譜
- 一六六九 (元和 六年) 二月 廿七日 土井利勝書状
- 一六七〇 (記事) 島津家久譜
- 一六七一 (元和 六年) 三月 三日 島津家久追悼和歌
- 一六七二 (元和 六年) 三月 三日 山口直友書状
- 一六七三 (元和 六年) 三月 十日 金武外二名連署状
- 一六七四 (元和 六年) 三月 十二日 帖佐支配所知行目錄
- 一六七五 (元和 六年) 三月 廿七日 島津久元外四名連署知行目錄
- 一六七六 (記事) 島津家久譜
- 一六七七 (元和 六年) 四月 四月 島津家久追悼和歌
- 一六七八 (元和 六年) 四月 十二日 島津久元外四名連署知行目錄
- 一六七九 (元和 六年) 五月 朔日 伊勢貞昌書状
- 一六八〇 (記事) 鎌田某父子起請文前書写
- 一六八一 (記事) 島津家久譜

一六八二 (元和 六年) 五月 二日 徳川秀忠御内書
 一六八三 (元和 六年) 五月 三日 島津家久書状
 一六八四 (元和 六年) 五月 五日 島津家久書状
 一六八五 (元和 六年) 五月十三日 某覚書
 一六八六 (元和 六年) 五月十三日 島津久元外四名連署知行目録
 一六八七 (元和 六年) 五月十三日 島津久元外四名連署知行目録
 一六八八 (元和 六年) 五月十三日 喜入久政・川上久晴連署名寄
 目録
 一六八九 (元和 六年) 五月廿六日 島津家久書状
 一六九〇 (元和 六年) 五月廿八日 飛鳥井雅胤書状
 一六九一 (元和 六年) (記事) 島津光久譜
 一六九二 (元和 六年) 八月 六日 土井利勝書状
 一六九三 (元和 六年) (記事) 北郷翁久譜
 一六九四 (元和 六年) (記事) 北郷翁久譜
 一六九五 (元和 六年) 八月 八日 島津家久書状
 一六九六 (元和 六年) 八月廿五日 島津家久書状
 一六九七 (元和 六年) 九月 二日 毛利秀就書状
 一六九八 (元和 六年) 九月 八日 土井利勝書状
 一六九九 (元和 六年) 九月十七日 伊達政宗書状
 一七〇〇 (元和 六年) 九月十八日 伊達政宗書状
 一七〇一 (元和 六年) 九月 廿日 島津家久書状
 一七〇二 (元和 六年) 九月 廿日 秋月某書状
 一七〇三 (元和 六年) 十月 二日 島津家久書状
 一七〇四 (元和 六年) 十月十一日 酒井忠世書状
 一七〇五 (元和 六年) 十月十一日 酒井忠世書状

一七〇六 (元和 六年) 十一月十三日 酒井忠世書状
 一七〇七 (元和 六年) (記事) 島津家久譜
 一七〇八 (元和 六年) 十二月 七日 井上正就書状
 一七〇九 (元和 六年) (記事) 島津光久譜
 一七一〇 (元和 六年) 十二月十九日 島津忠広一流系図
 一七一一 (元和 六年) 十二月十九日 島津家久書状
 一七一二 (元和 六年) 十二月十九日 島津家久覚書
 一七一三 (元和 六年) 閏十二月十日 島津家久書状
 一七一四 (元和 六年) 閏十二月十日 島津家久書状
 一七一五 (元和 六年) 閏十二月廿九日 喜入忠政・伊勢貞昌連署状
 一七一六 (元和 六年) (記事) 北郷忠能譜
 一七一七 (元和 六年) 二月二十七日 薩隅日三州一所衆并魔府衆中
 高極帳
 一七一八 (元和 七年) (記事) 島津家久譜
 一七一九 (元和 七年) 正月十五日 細川忠興覚書
 一七二〇 (元和 七年) (記事) 島津忠朗譜
 一七二一 (元和 七年) 島津家久書
 一七二二 (元和 七年) (記事) 島津光久譜
 一七二三 (元和 七年) (記事) 島津家久譜
 一七二四 (元和 七年) 二月 五日 喜入忠政・伊勢貞昌連署状
 一七二五 (元和 七年) (記事) 島津家久譜
 一七二六 (元和 七年) 二月 六日 細川忠利起請文
 一七二七 (元和 七年) 二月廿六日 島津家久書状
 一七二八 (元和 六年) 三月十二日 島津久元・町田久幸連署状

卷七十六

- 一七二九 (元和 七年) 三月十二日 島津久元・町田久幸連署状
一七三〇 (元和 七年) 三月十三日 山崎正信書状
一七三一 (元和 七年) 三月十九日 島津久元・町田久幸連署状
一七三二 四月 六日 島津家久書状
一七三三 (元和 七年) 四月十一日 島津家久書状
一七三四 元和 七年 四月 吉日 諏訪兼安起請文
一七三五 (元和 七年) 五月 五日 徳川家光直書
一七三六 元和 七年 八月廿五日 島津久元外三名連署書下
一七三七 元和 八年 六月廿四日 喜入忠政外四名連署書下
一七三八 元和 八年 六月廿四日 喜入忠政外四名連署書下
一七三九 (元和 八年) 七月十二日 島津家久書状
一七四〇 元和 八年 八月 九日 有川某願文
一七四一 元和 九年 二月廿七日 島津久元・伊勢貞昌連署状
一七四二 元和 九年 三月十一日 島津家久詠草
一七四三 元和 九年 五月 吉日 住吉三所大明神棟札
一七四四 (記事) 島津家久譜
一七四五 (元和 七年) 六月十三日 細川忠興書状
一七四六 (記事) 島津家久譜
一七四七 (元和 七年) 島津家久追悼和歌
一七四八 島津家久譜
一七四九 (元和 七年) 六月廿八日 伊勢貞昌書状
一七五〇 九月 五日 徳川秀忠御内書
一七五一 (記事) 島津家久譜
一七五二 元和 七年 十月十二日 島津家久書下
一七五三 (記事) 島津家久譜
- 一七五四 (元和 七年) 十月十七日 島津家久書状
一七五五 (記事) 島津家久譜
一七五六 元和 七年 十二月 四日 犬追物手組
一七五七 元和 七年 十二月 五日 犬追物手組
一七五八 元和 七年 十二月 七日 犬追物手組
一七五九 (記事) 島津久元譜
一七六〇 (記事) 島津家久譜
一七六一 (元和 七年) 十二月廿五日 徳川家光直書
一七六二 (記事) 島津家久譜
一七六三 (元和 八年) 二月十一日 板倉重宗書状
一七六四 (記事) 島津久元譜
一七六五 (元和 八年) 二月廿一日 良愨入道親王書状
一七六六 (元和 八年) 二月廿七日 山口憲倫^直書状
一七六七 (記事) 島津家久譜
一七六八 (記事) 島津久元譜
一七六九 (元和 八年) 三月 五日 島津家久書状
一七七〇 (元和 八年) 四月廿二日 寺沢広高書状
一七七一 (元和 八年) 五月 二日 徳川家光直書
一七七二 (元和 八年) 五月 三日 井上正就書状
一七七三 元和 八年 五月廿五日 臧山何連歌
一七七四 島津忠清一流系図
一七七五 (元和 八年) 六月十一日 島津家久書状
一七七六 島津久元一流系図
一七七七 (元和 八年) 六月十七日 中山王尚豊書状
一七七八 元和 八年 六月廿四日 喜入忠政外四名連署書下

- 一七七九 (元和 八年) 六月廿五日 島津家久書狀
- 一七八〇 (記事) 島津家久譜
- 一七八一 (元和 八年) 七月十二日 島津家久書狀
- 一七八二 (元和 八年) 九月 五日 飛鳥井雅胤書狀
- 一七八三 (記事) 島津家久譜
- 一七八四 (元和 八年) 十一月十一日 島津久元書狀
- 一七八五 (元和 九年) 三月十九日 良純法親王書狀
- 一七八六 (記事) 島津家久譜
- 一七八七 (元和 九年) 二月廿七日 島津久元・伊勢貞昌連署狀
- 一七八八 (記事) 島津家久譜
- 一七八九 (元和 八年) 十二月廿四日 徳川家光直書
- 一七九〇 (記事) 島津家久譜
- 一七九一 (元和 九年) 四月廿一日 島津家久追悼和歌
- 一七九二 (元和 九年) 五月 八日 島津家久書狀
- 一七九三 (記事) 島津家久譜
- 一七九四 (元和 九年) 六月 三日 西洞院時直書狀
- 一七九五 (元和 九年) 六月 十日 島津久元外二名連署提書
- 一七九六 (元和 九年) 六月十三日 島津家久書狀
- 一七九七 (記事) 島津家久譜
- 一七九八 (元和 九年) 六〇二日 島津家久書狀
- 一七九九 (記事) 島津家久譜
- 一八〇〇 (元和 九年) 七月 十日 飛鳥井雅庸書狀
- 一八〇一 (記事) 島津家久譜
- 一八〇二 (元和 九年) 七月廿四日 板倉勝重書狀
- 一八〇三 (記事) 島津家久譜
- 一八〇四 (元和 九年) 七月廿六日 土井利勝書狀
- 一八〇五 (元和 九年) 七月廿八日 島津家久書狀
- 一八〇六 (記事) 児玉氏譜
- 一八〇七 (元和 九年) 七月廿八日 島津久元・伊勢貞昌連署狀
- 一八〇八 七月廿八日 島津久元・伊勢貞昌連署狀
- 一八〇九 (元和 九年) 八月 四日 飛鳥井雅胤書狀
- 一八一〇 (元和 元年) 八月 六日 參内供大名交名
- 一八一一 (元和 九年) 八月 七日 興意入道親王書狀
- 一八一二 (記事) 島津家久譜
- 一八一三 (元和 九年) 八月廿三日 島津久元・喜入忠統連署手形錢
定書
- 一八一四 (元和 九年) 閏八月 十日 寺山久豊・伊地知重堅連署狀
- 一八一五 (記事) 島津家久譜
- 一八一六 (元和 九年) 閏八月廿四日 島津家久書狀
- 一八一七 (元和 九年) 九月 島津家久書狀案
- 一八一八 (記事) 島津家久譜
- 一八一九 (元和 九年) 九月) 島津家久起請文前書案
- 一八二〇 (元和 九年) 九月 十日 生島季盛書狀
- 一八二一 (元和 九年) 九月十五日 理性院觀助書狀
- 一八二二 (元和 九年) 十月十九日 トムアントニョ・ドンヘルナ
ンド連署狀
- 一八二三 (記事) 桂忠能譜
- 一八二四 十月廿三日 島津久元外三名連署狀
- 一八二五 (元和 九年) 十月廿三日 島津久元外三名連署狀
- 一八二六 (元和 九年) 十一月 八日 島津久元外三名連署書下写

- 一八二七 (元和 九年) 十一月十四日 喜入忠政・伊勢貞昌連署状
- 一八二八 (記事) 島津家久譜
- 一八二九 (元和 九年) 十一月廿八日 徳川家光御内書
- 一八三〇 (元和 九年) 十二月 六日 酒井忠世書状
- 一八三一 雜抄
- 一八三二 (元和 九年) 十二月廿四日 徳川秀忠御内書
- 一八三三 (記事) 児玉利昌伝
- 一八三四 児玉利昌起請文前書

卷七十七

- 一八三五 正月 三日 島津家久書状
- 一八三六 (記事) 島津家久譜
- 一八三七 (元和 十年) 正月十三日 漢倭連句
- 一八三八 (寛永 元年) 正月廿四日 大橋親勝書状
- 一八三九 正月廿四日 天野長信書状
- 一八四〇 (寛永 元年) 正月廿九日 生島季盛書状
- 一八四一 (寛永 元年) 二月十二日 松平定綱書状
- 一八四二 (元和 十年) 二月十二日 賦何船連歌
- 一八四三 (元和 十年) 二月十二日 賦何人連歌
- 一八四四 (元和 十年) 二月廿一日 四辻季継伝授状
- 一八四五 (元和 十年) 二月廿二日 賦何木連歌
- 一八四六 (記事) 島津家久譜
- 一八四七 (元和 十年) 三月十七日 島津久元外三名連署覚書
- 一八四八 三月十八日 島津家久書状
- 一八四九 (寛永 元年) 四月十一日 島津家久書状
- 一八五〇 (記事) 児玉氏譜

- 一八五一 寛永 元年 五月 八日 賦何船連歌
- 一八五二 寛永 元年 五月 八日 市来惟清覚書
- 一八五三 (記事) 児玉利昌譜
- 一八五四 (寛永 元年) 八月 七日 蒲池某覚書
- 一八五五 寛永 元年 八月 廿日 島津久元外二名連署掟書
- 一八五六 寛永 元年 八月 廿日 島津久元外二名連署掟書
- 一八五七 (記事) 北郷翁久譜
- 一八五八 (記事) 島津光久譜
- 一八五九 (記事) 島津光久譜
- 一八六〇 (寛永 元年) 十月十四日 島津義弘息女屋地覚書
- 一八六一 寛永 元年 十一月十三日 島津家久袖加判留守中法度
- 一八六二 寛永 元年 十二月 八日 島津家久袖加判留守中法度
- 一八六三 (記事) 島津家久譜
- 一八六四 (記事) 島津光久譜
- 一八六五 (記事) 北郷久加譜
- 一八六六 (記事) 樺山久高譜
- 一八六七 (記事) 児玉利昌譜
- 一八六八 十二月廿三日 徳川秀忠御内書
- 一八六九 (寛永 元年) 十二月廿八日 伊勢貞知書状
- 一八七〇 (記事) 島津家久譜
- 一八七一 (記事) 島津光久譜
- 一八七二 (記事) 島津忠朗譜
- 一八七三 (記事) 島津家久譜
- 一八七四 寛永 二年 四月十二日 島津久元・比志島園隆連署手形

- 一八七五 (寛永二年) 四月十四日 井上正就書状
- 一八七六 (寛永二年) 四月十六日 島津家久書状
- 一八七七 (寛永二年) 四月 廿日 土井利勝書状
- 一八七八 島津家久詠草
- 一八七九 (寛永二年) 四月廿四日 島津家久書状
- 一八八〇 (寛永二年) 四月廿四日 喜入忠政・伊勢貞昌連署状
- 一八八一 (寛永二年) 四月廿七日 島津家久書状
- 一八八二 (記事) 島津家久譜
- 一八八三 (寛永二年) 五月 六日 土井利勝書状
- 一八八四 (記事) 島津家久譜
- 一八八五 (寛永二年) 五月十七日 酒井忠世書状
- 一八八六 (記事) 島津光久譜
- 一八八七 薩州家譜
- 一八八八 (記事) 島津家久譜
- 一八八九 (寛永二年) 八月 廿日 島津家久書状
- 一八九〇 (寛永二年) 九月 三日 板倉重昌書状
- 一八九一 (寛永二年) 九月 六日 土井利勝書状
- 一八九二 (寛永二年) 九月 八日 秋山正重書状
- 一八九三 寛永二年 十月 朔日 島津久元外二名連署寛書
- 一八九四 (寛永二年) 十一月廿九日 土井利勝書状
- 一八九五 (寛永二年) 十二月十四日 稻葉正勝書状
- 一八九六 (記事) 島津家久譜
- 一八九七 (寛永二年) 十二月十八日 酒井忠世書状

鹿兒島県史料編さん関係者

調査史料課		副館長	館長	委員				顧問		
新田	若晋	坂新	新納	田山	桑波	四本	桃園	東京	前早	聖心
山中	松重	哲哉	徳幸	島下	千興	千興	健光	大学	稲田	女子
真代	三代子	三子	教義	秀隆	本隆	本隆	惠眞	教授	大学	大学
	久黒	吉元			芳村	五原			新	大
	木田	木元			野味	味口			竹	久
	愛さ	正幸			即守	克虎			田	保
	子と	え幸			正次	次夫	雄		内	利
									理	謙
									三	

鹿兒島県史料

旧記雜録後編 4

昭和58年12月1日印刷

昭和59年2月20日発行

非売品

編集 鹿兒島県歴史資料センター黎明館

発行 鹿 児 島 県

印刷所 合名会社 文尚堂印刷所

鹿兒島市西千石町1-8